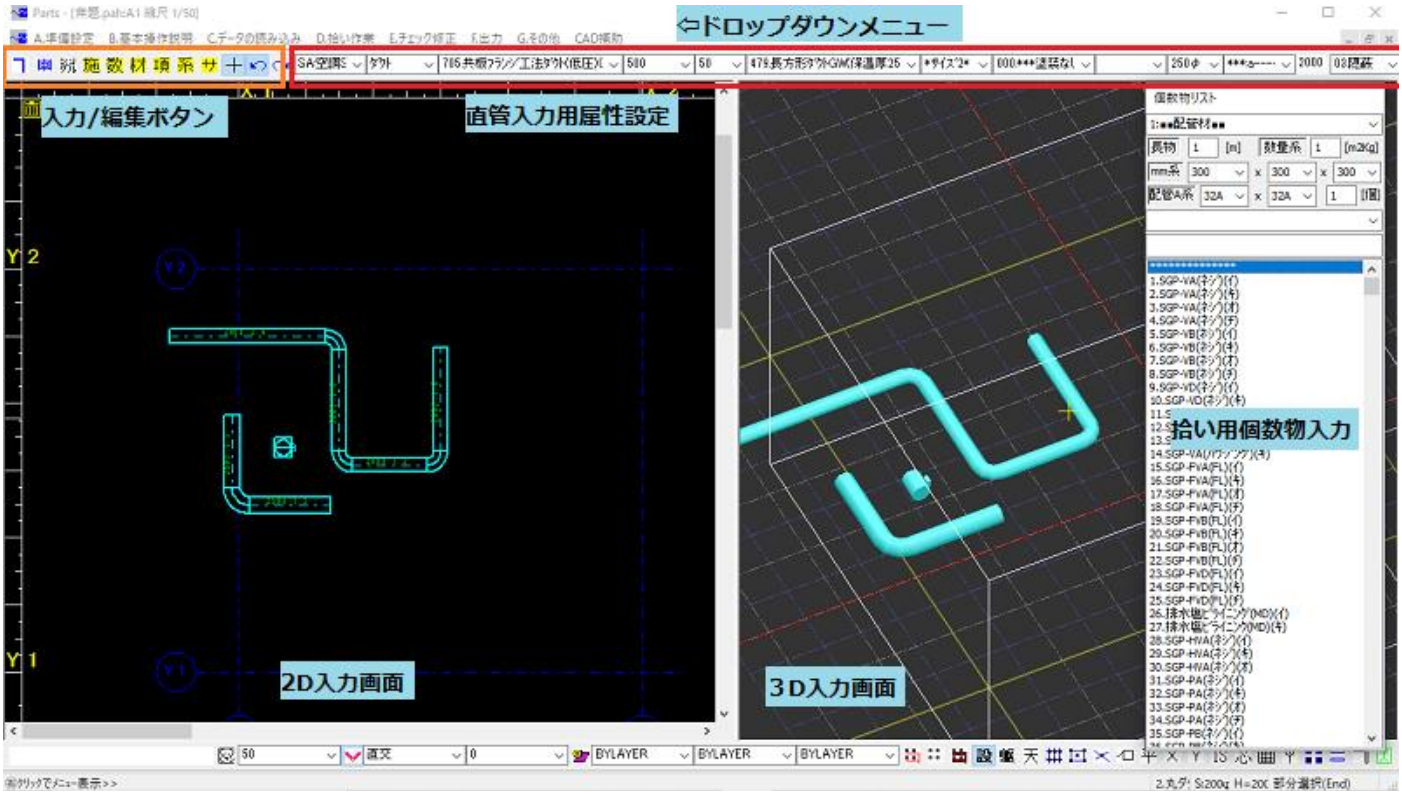
■『Parts 設備』概要

●当システムは資材集計積算を主目的としています。
●種別、施工区分（保温区分）をその都度設定しながら作図します。
●作図後、[出力]-[資材データ作成]でその場で集計し、複合単価での工事価格を割り出すことができます。
工事価格は基本的には『機械設備工事積算実務マニュアル』の材料単価/複合単価および建設物価の材料単価をユーザー側で入力します。
●作図前に、種別ごとおよび施工区分（保温区分）ごとに直管の材質/保温/塗装の資材を設定しておきます。
●その設定は国土交通省の白本に沿っての設定に準じていますので分かりやすいです。なお細かな詳細設定も可能です。

■画面全体



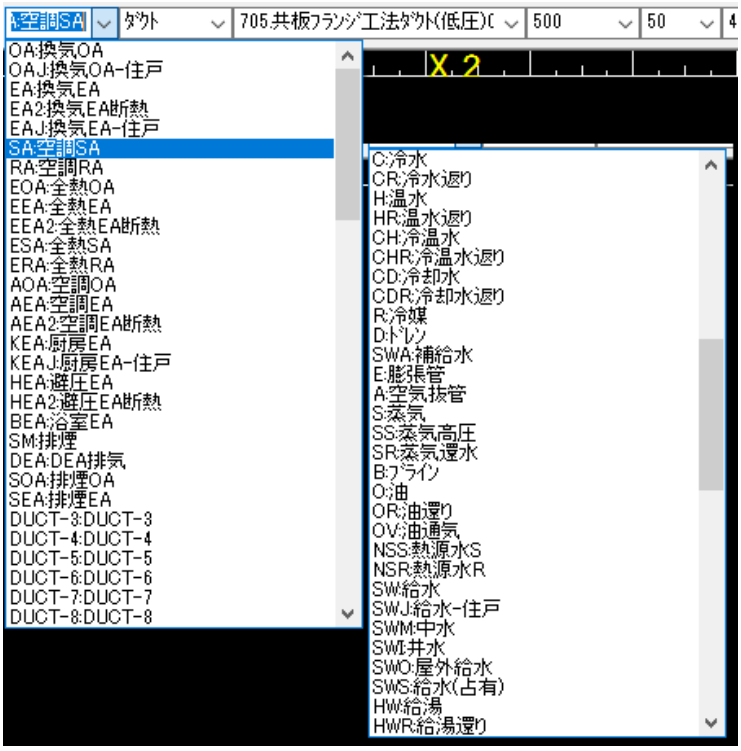
■直管入力用属性設定

①種別②区分③直管材質　　④ｻｲｽﾞ 1⑤ｻｲｽﾞ 2⑥保温材質　⑦保温ｻｲｽﾞ ⑧塗装材質⑨ｻｲｽﾞ ⑩ｽﾊﾟｲﾗﾙ　⑫高さ

⑪配管ｻｲｽﾞ ⑬保温区分

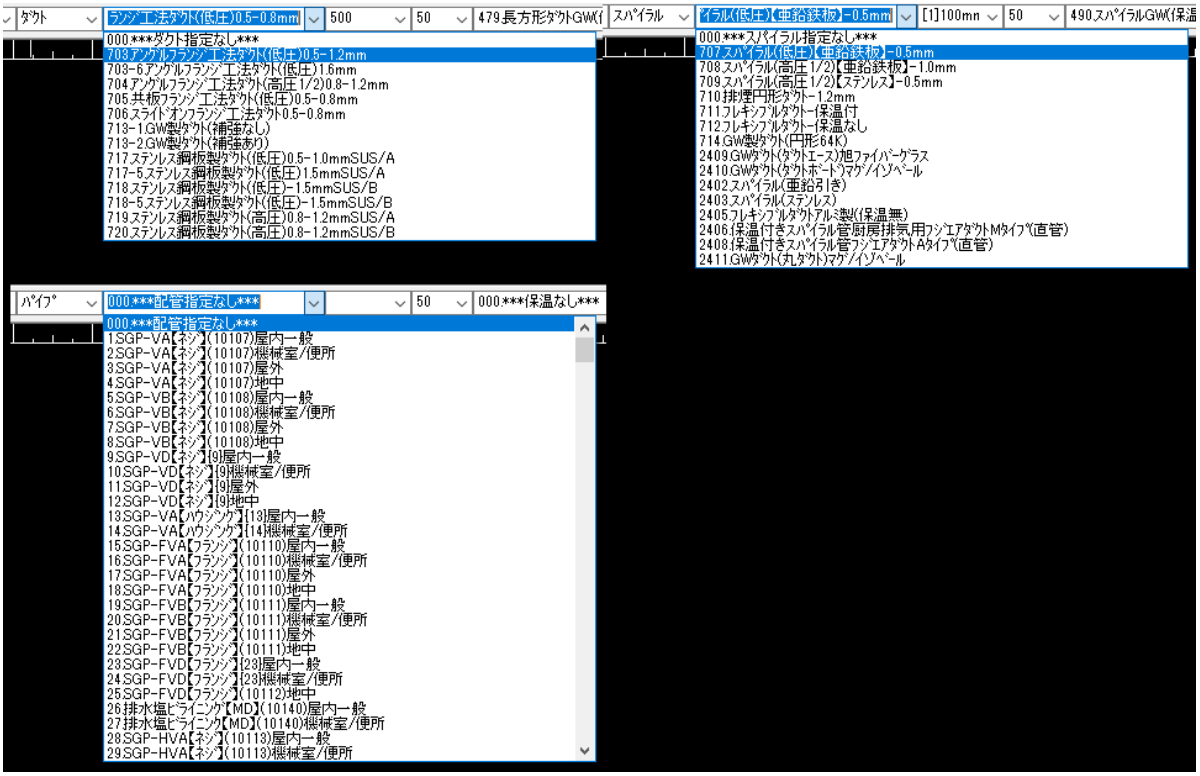
《設定手順》
まず①種別を選択します。
次に⑬保温区分を設定します。
すると③直管材質⑥保温材質⑧塗装材質に材質が設定されます。
必要があれば各材質を選択します。
最後に各サイズを設定します。

① 種別



② 区分　ダクト種別の中で[ﾀﾞｸﾄ]/[ｽﾊﾟｲﾗﾙ]を切り替える際に使用

③ 直管材質



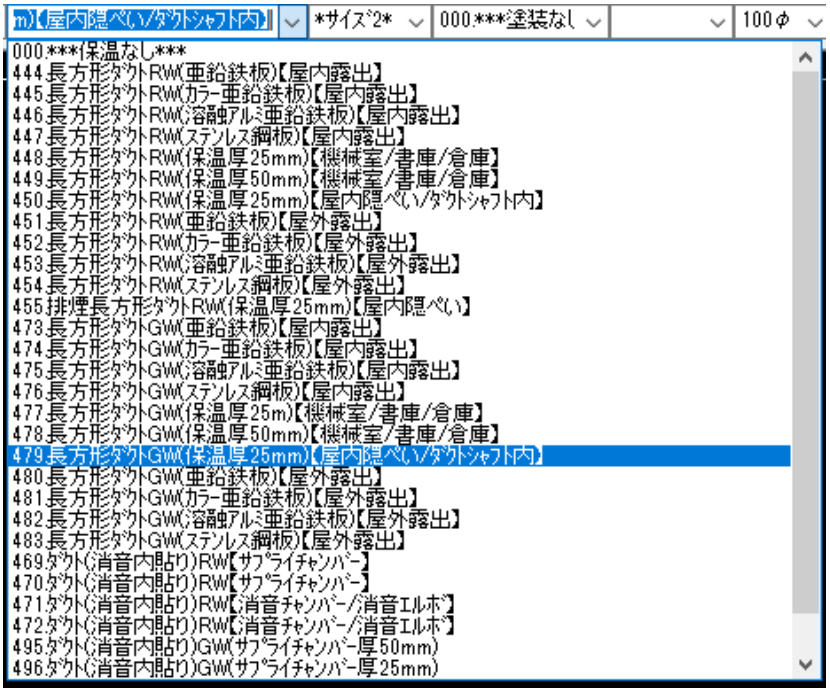
④　サイズ１

角ダクトの場合は横幅 W

⑤　サイズ２

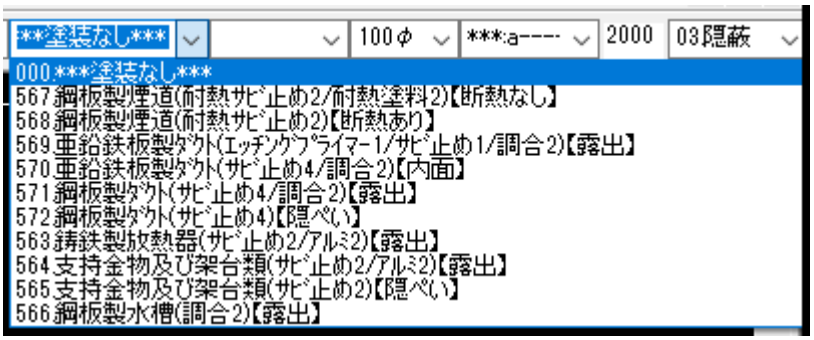
角ダクトの場合は縦幅H

⑥保温材質



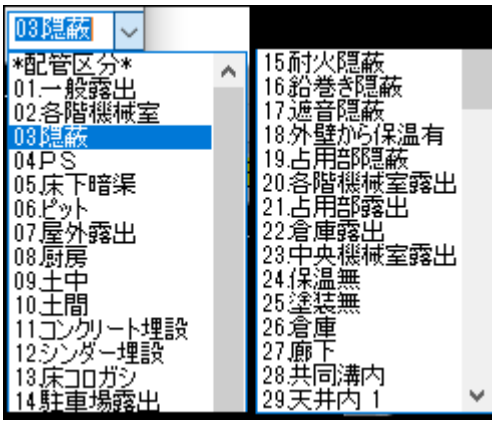
⑦保温ｻｲｽﾞ

⑧塗装材質



⑨塗装サイズ/⑩スパイラルサイズ/⑪配管サイズ/⑫高さ

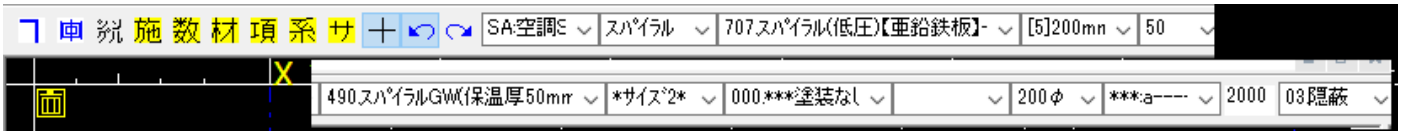
⑬保温区分



■作図手順

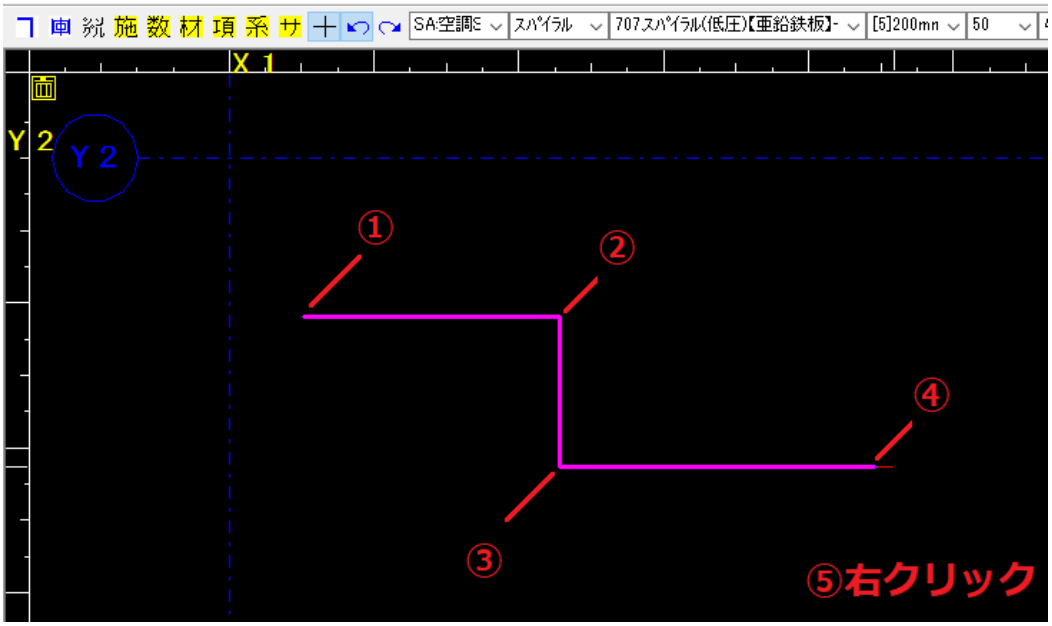
《直管の経路作図》

・直管入力用属性を設定します。

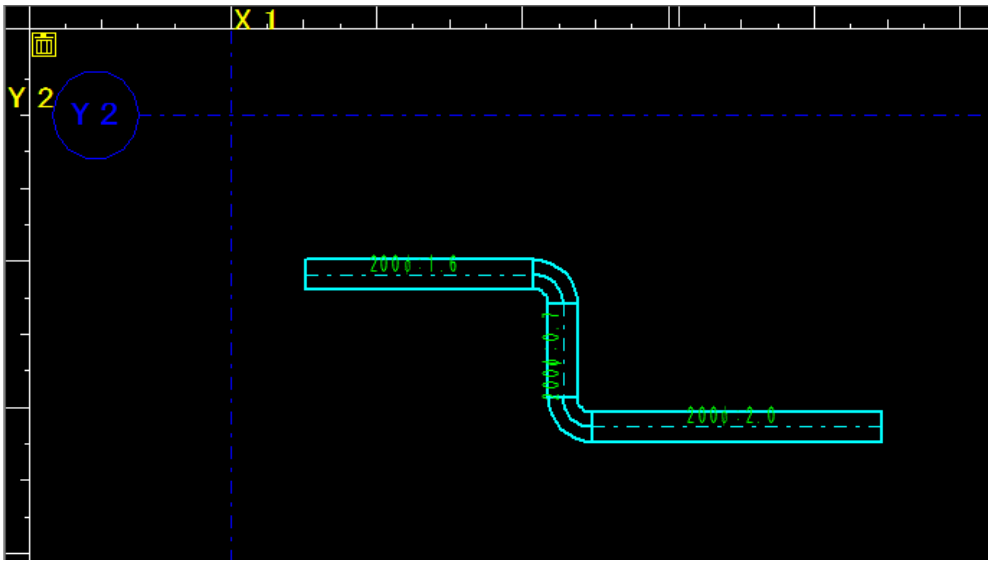


・経路作図ボタンをクリック

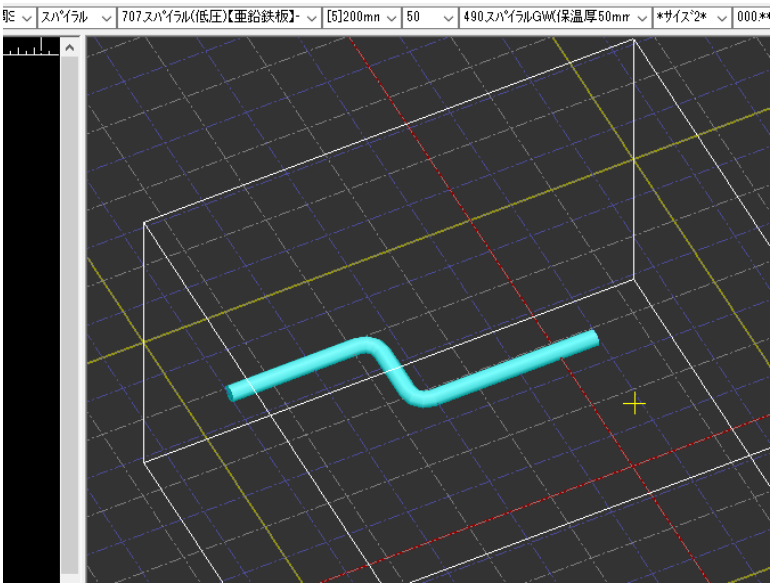
・一筆書きで経路をマウスでクリック



⇓



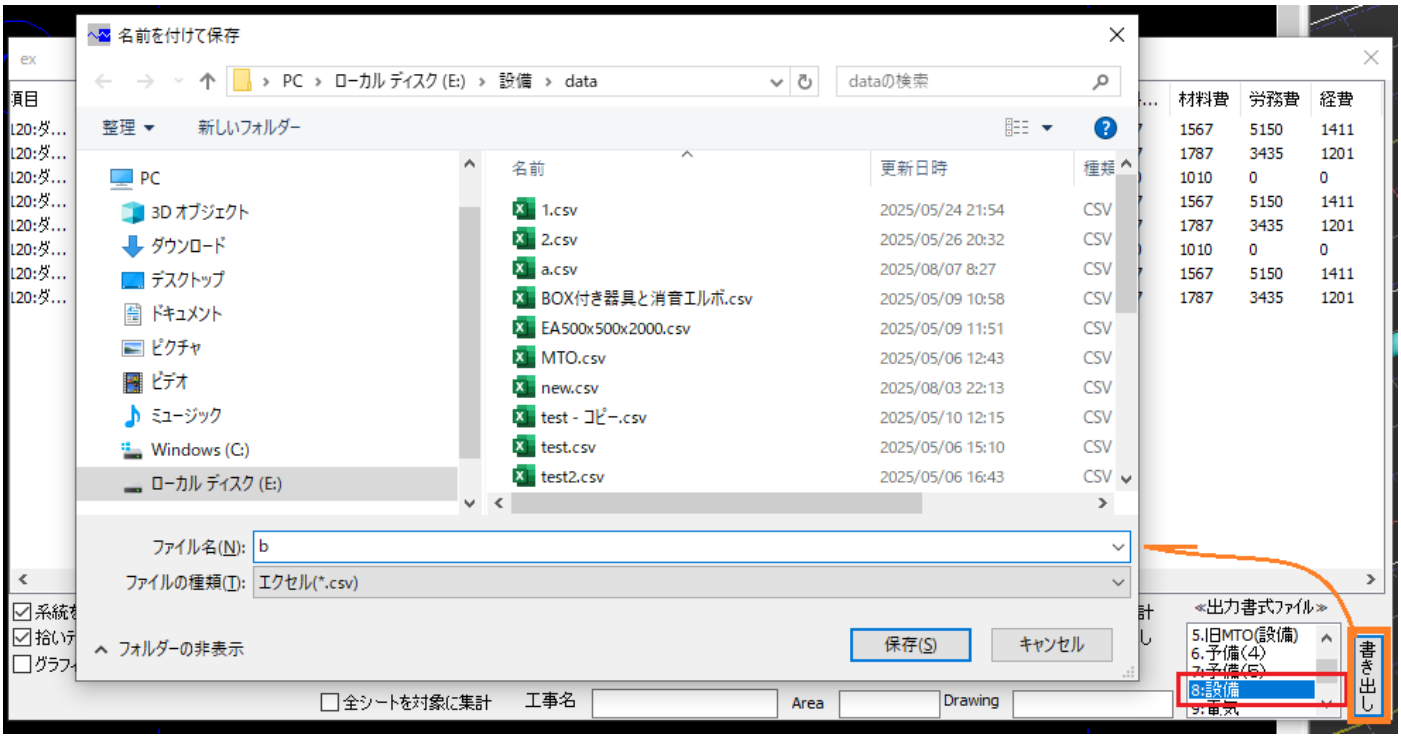
右側に３Ｄが表示されます。



・資材集計してみます。

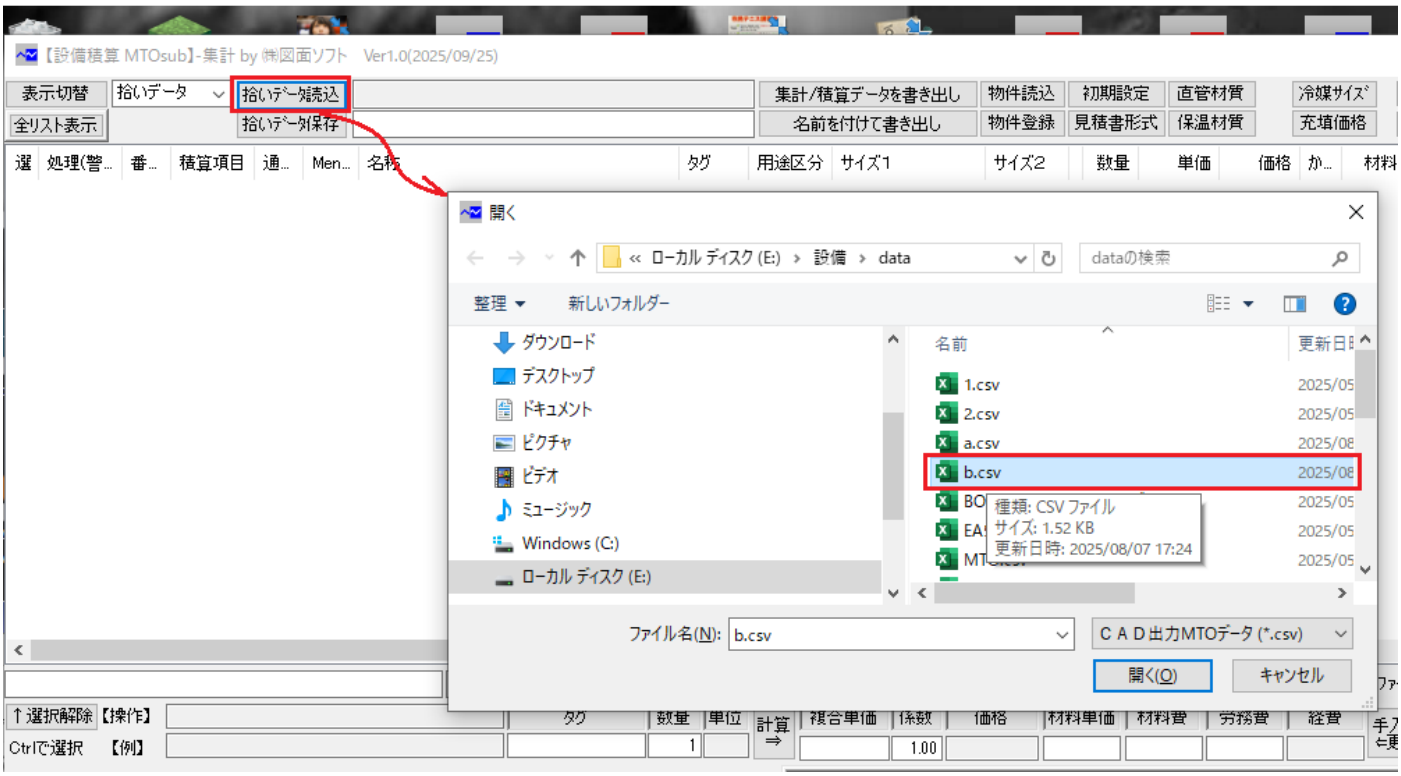
[出力]-[拾いデータ作成]メニューを選択します。

・拾いデータを CSV で出力

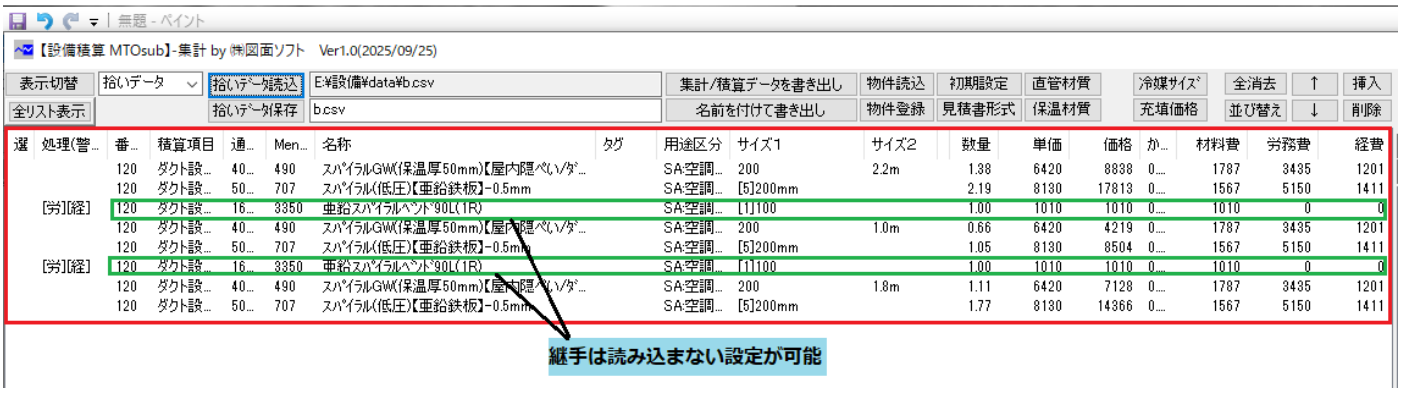


■MTOsub で集計処理

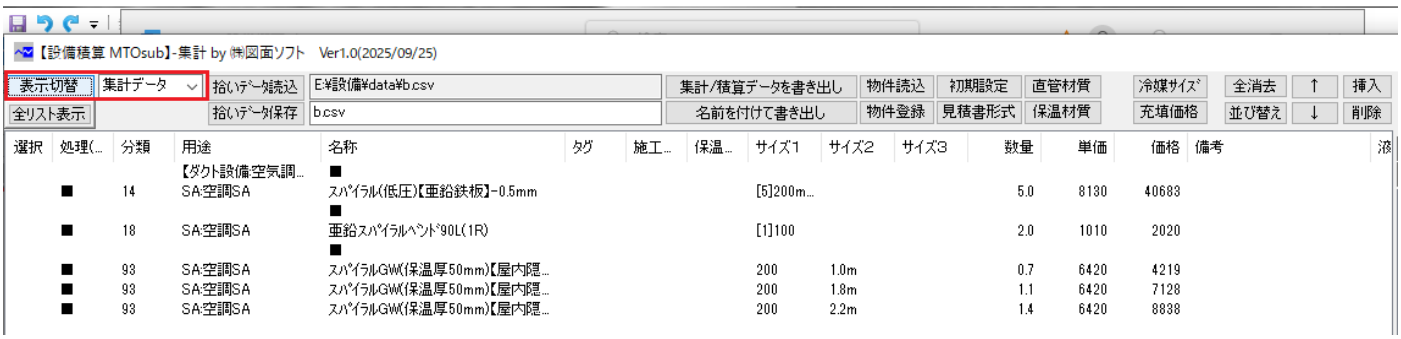
・MTOsub.exe を立ち上げ、先ほど保存した b.csv を読込みます。



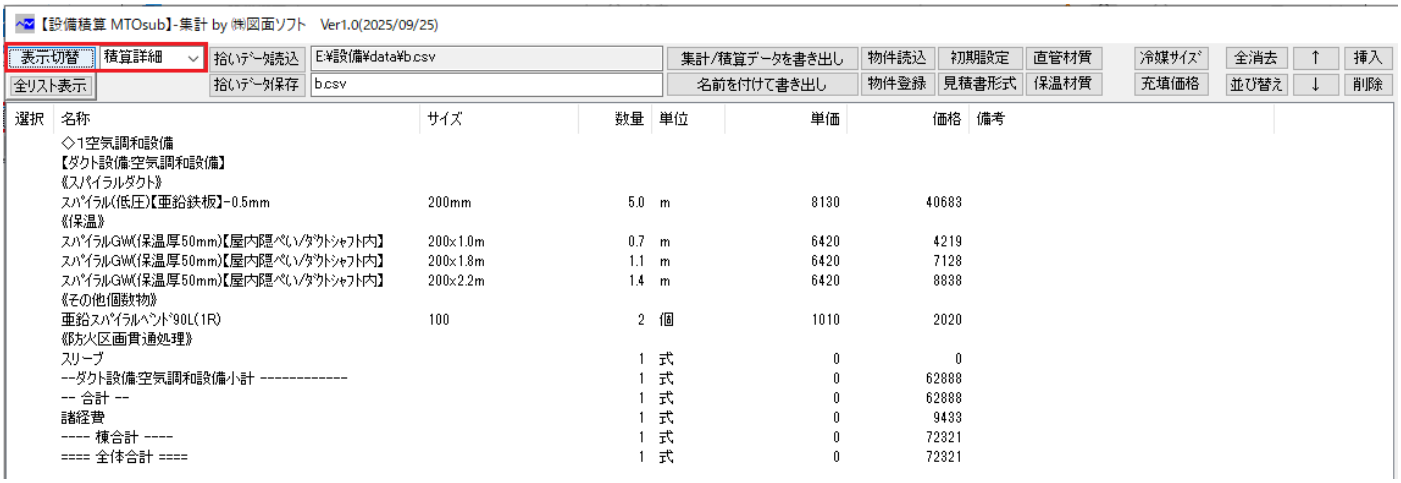
⇓読み込んだ時点で[拾いデータ]が表示されます。



⇓表示の切り替えで[集計]



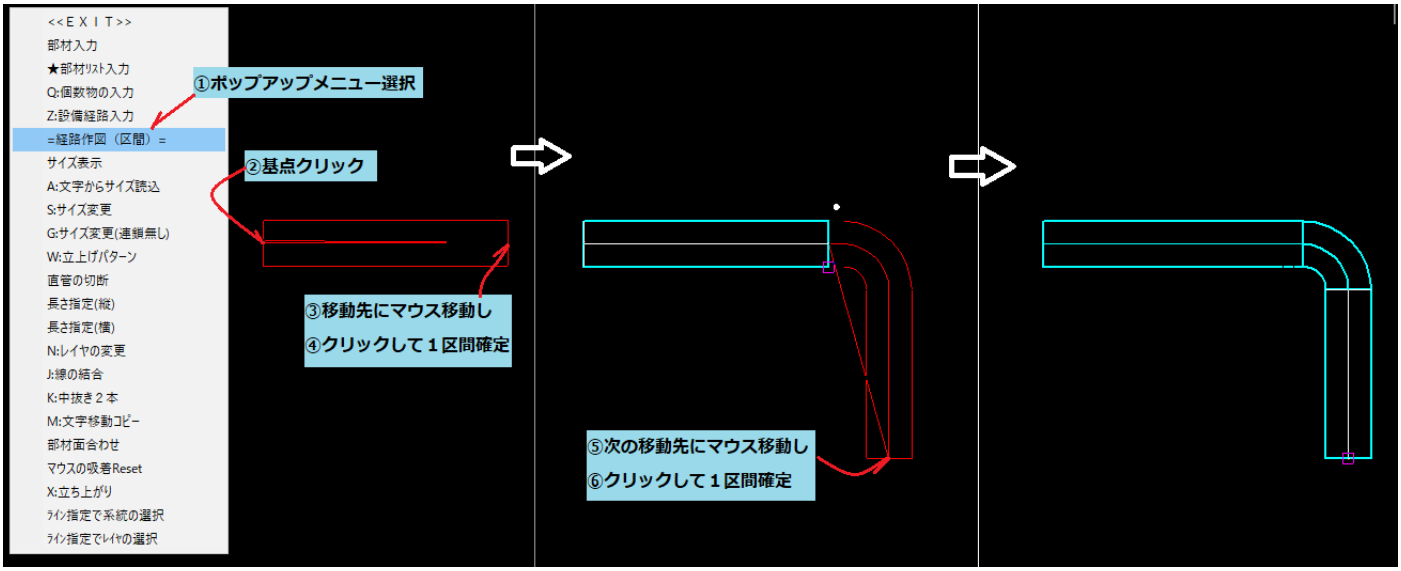
⇓[積算]



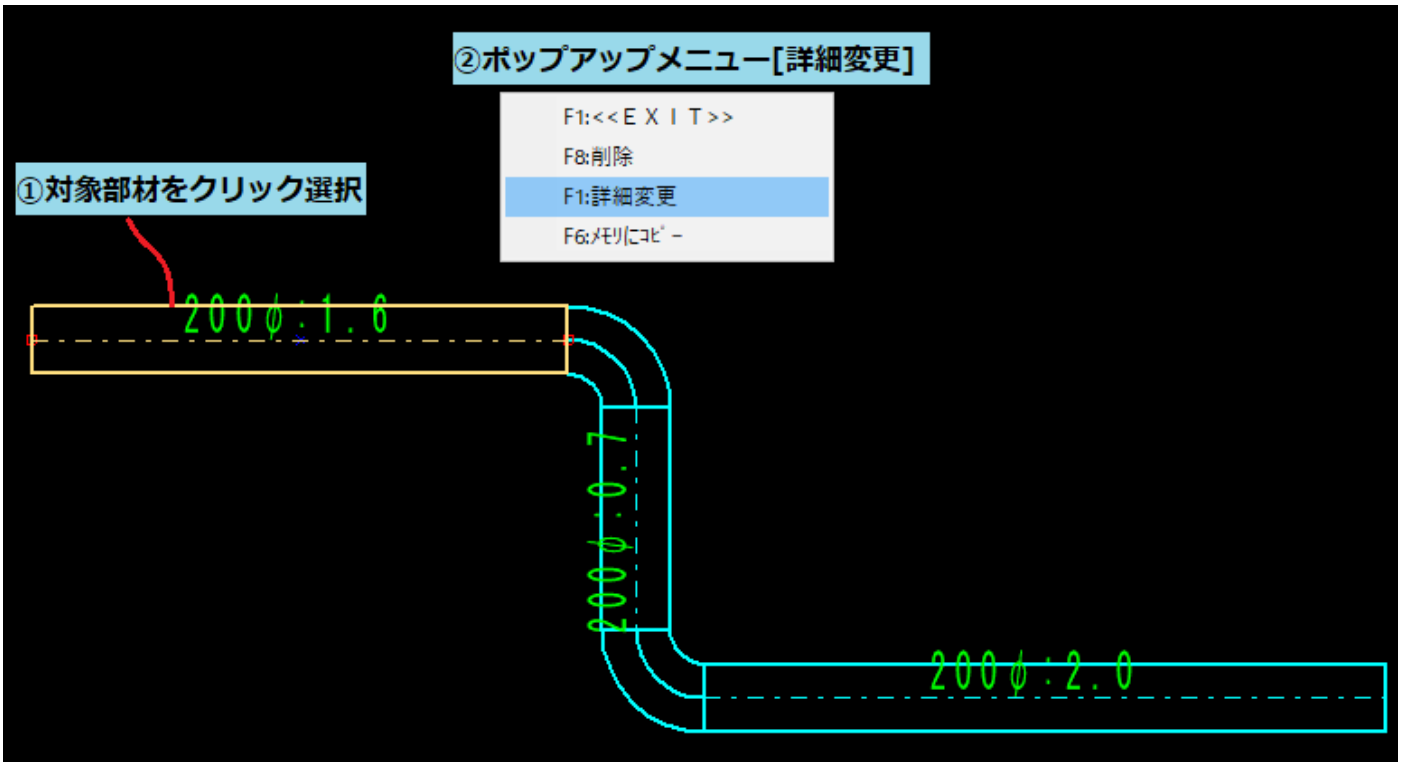
《直管の経路作図（区間)》

メニューはポップアップメニュー（右クリック）にあります。

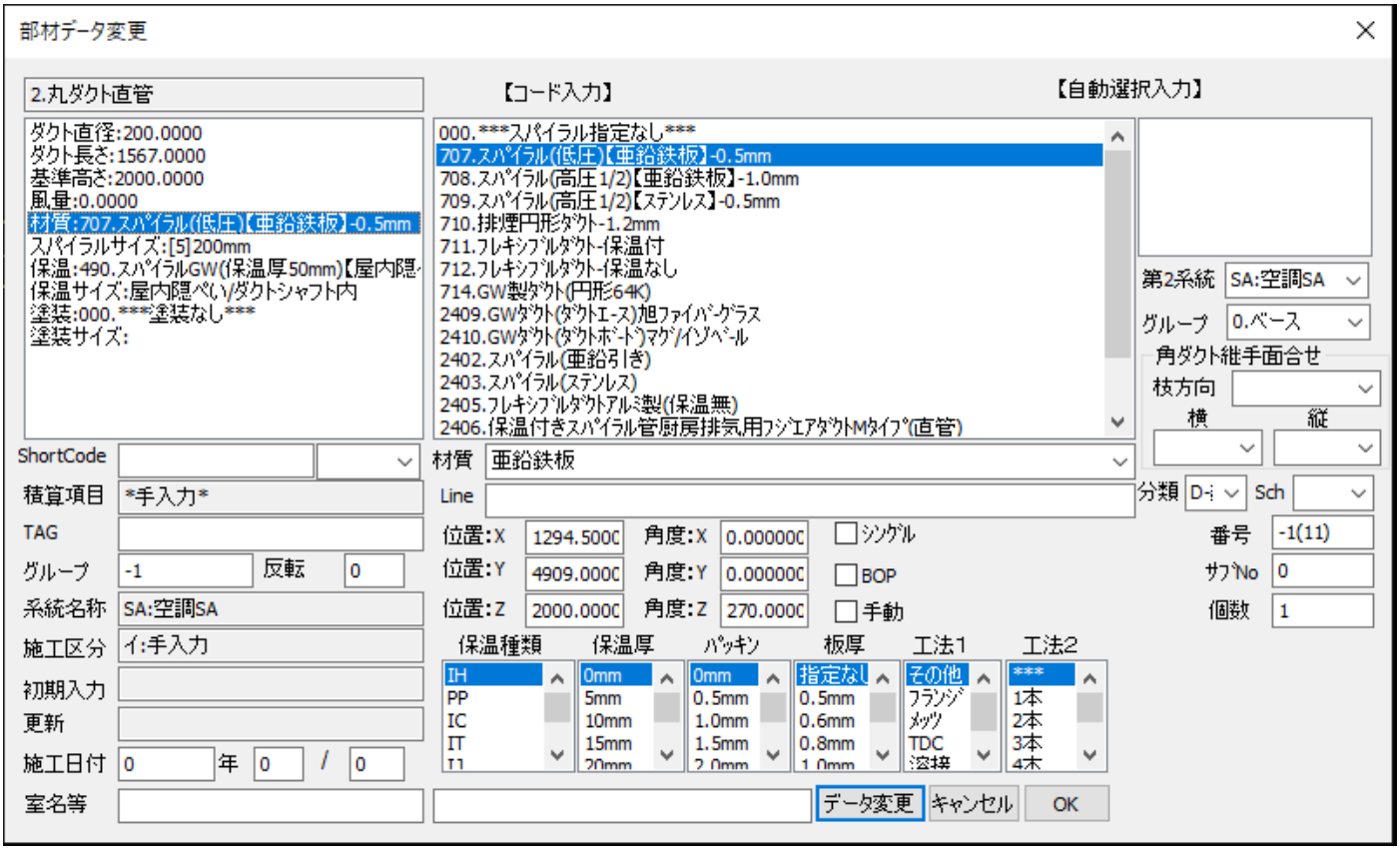
以下のように１区間ごとに形状を確認しながら作図します。



■入力データの内容を確認

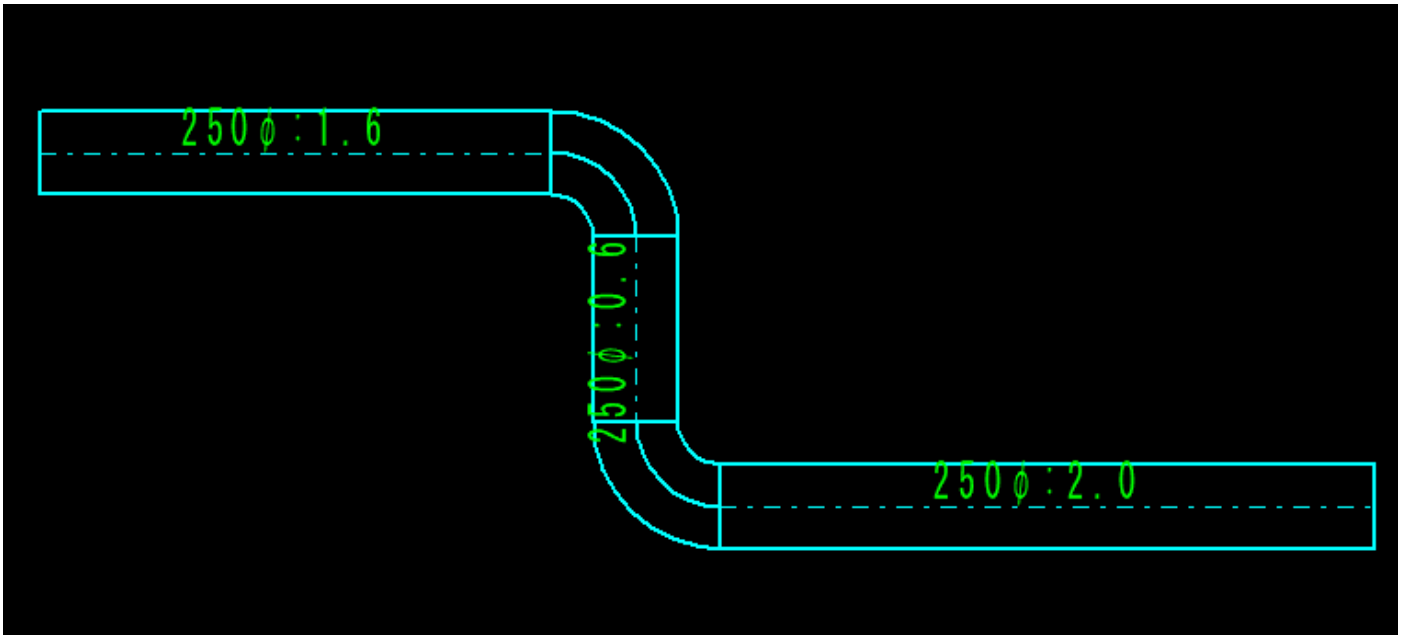


⇓属性が表示されます。

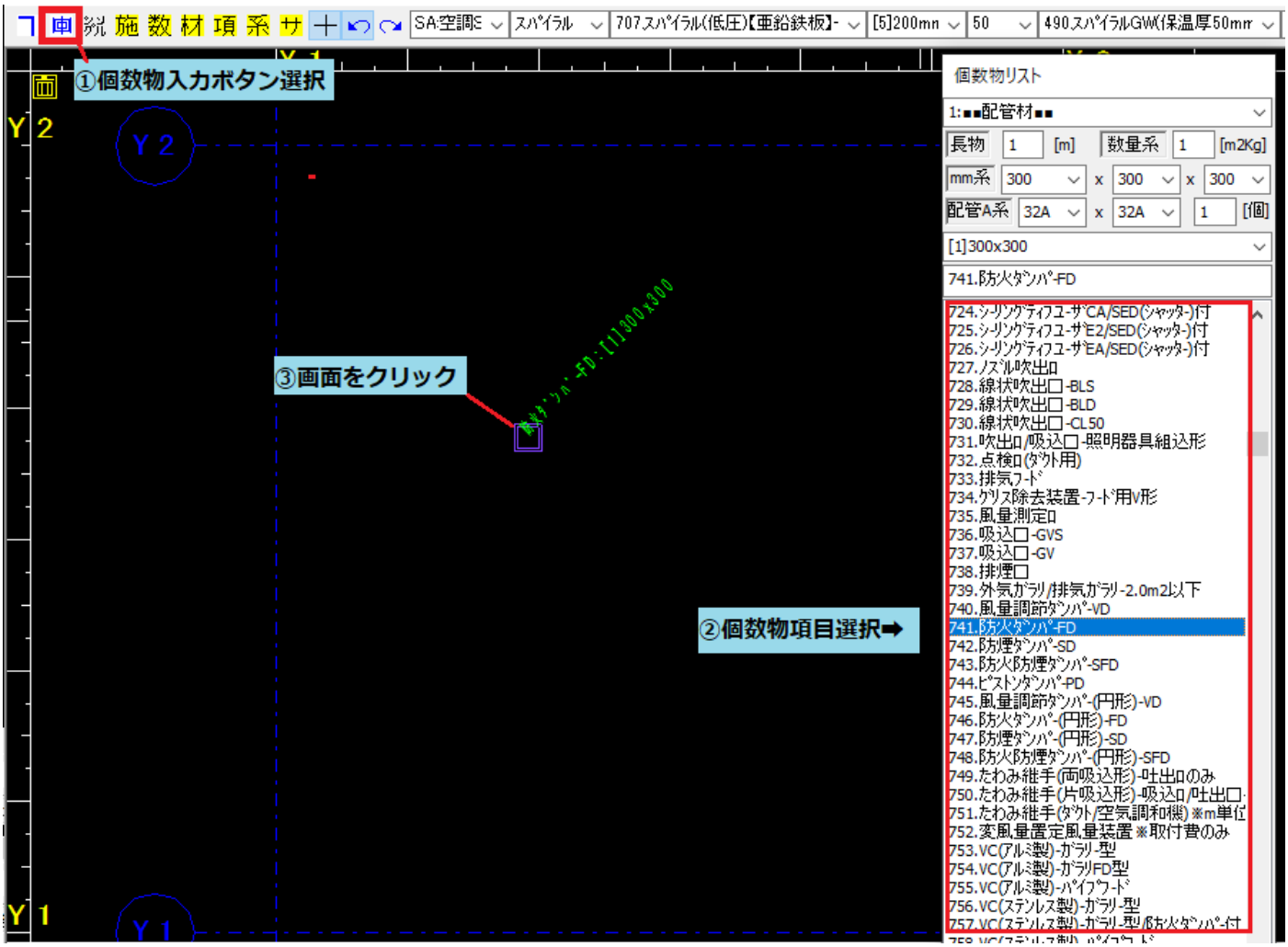


ここでサイズの変更も可能です。
200φから250φに変更するには
左側のリストで[ダクト直径:200.0000]をクリックします。
するとそのデータが下の欄に200.0000と表示されます。

この200.0000を250にキーボードで打ち換えて、[Enter]キーを押すか、[データ変更]ボタンをクリック。
その次に[OK]ボタンを押して確定します。
すると以下のようにサイズが変更されます。
サイズが変更されると、それに接続されている部材のサイズも同時に調整されます。

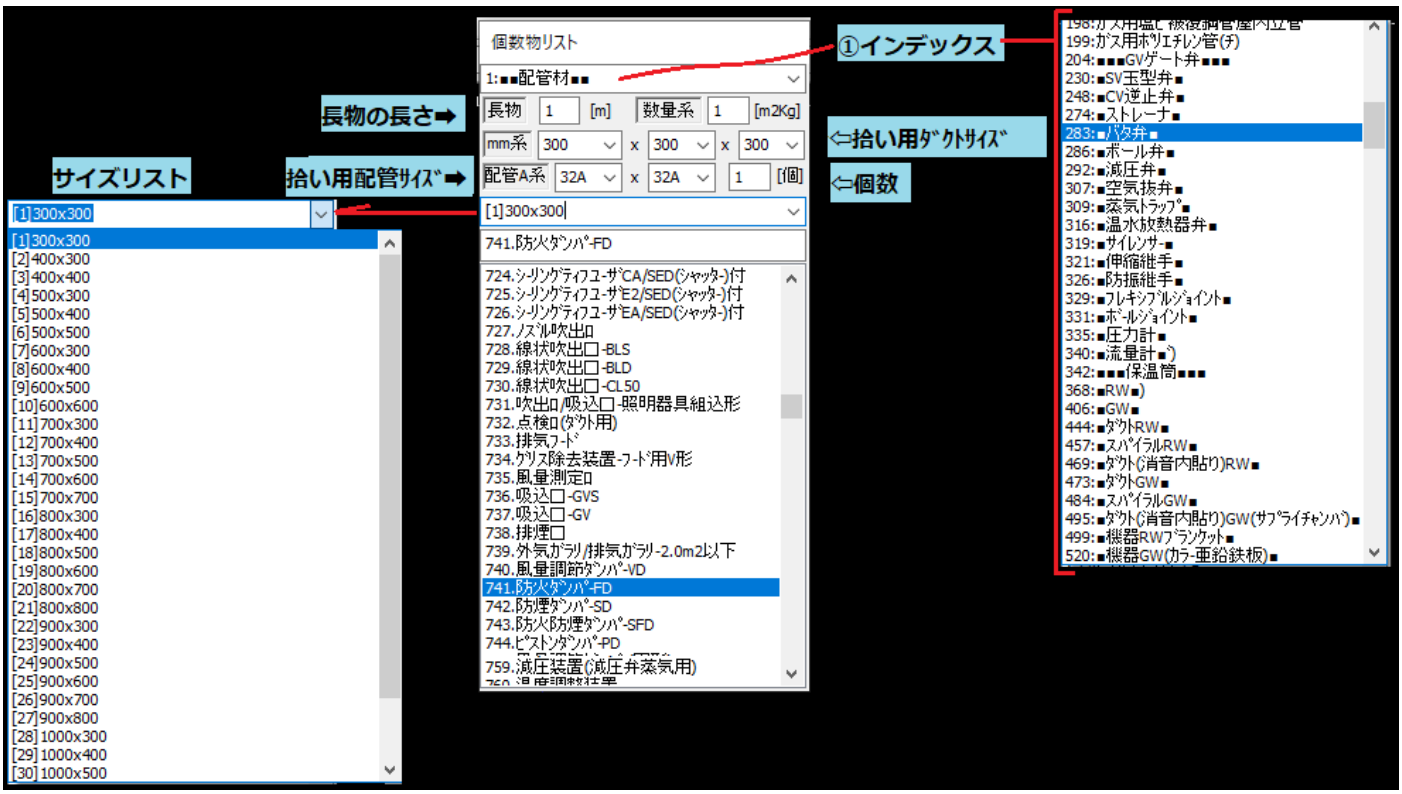


■個数物の入力



集計してみます。

《個数物入力シートの扱い》



■個数物のリスト（資材コード）は以下のような体系になっています。

・[積算実務マニュアル] 1 ～999

・[ダクト拾い用項目]1000～1264

・[カスタマイズ用ダクト予備]1265-1300

・[配管拾い用項目]1301～1789

・[カスタマイズ用配管予備]1790～2000

・[建設物価]2001～4063

・[追加分の積算実務マニュアル]4064～4182

※[拾い用項目]は基本的に金額は算出されません。数量を集計する目的のみで使用します。

■サイズの運用

・[サイズリスト]の欄は[積算実務マニュアル]と[建設物価]の項目で使用します。

・[mm 系のサイズ]は[拾い用ダクト項目]のサイズの入力の場合に使用します。

・[配管 A 系のサイズ]は[拾い用配管項目]のサイズの入力の場合に使用します。

■[長物の長さ]

直管の入力の場合の長さを指定します。

■[数量系]

Kg,m2 の数量を入力する[積算マニュアル]の項目で使用。

■[個数]

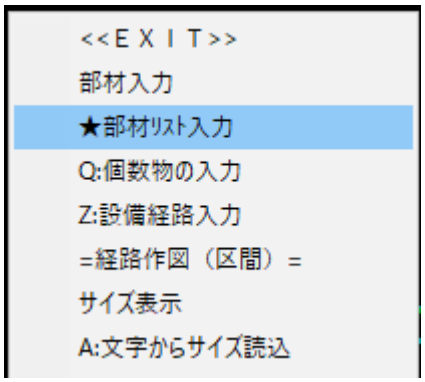
入力の個数を設定します。

■グラフィックメニューでの入力

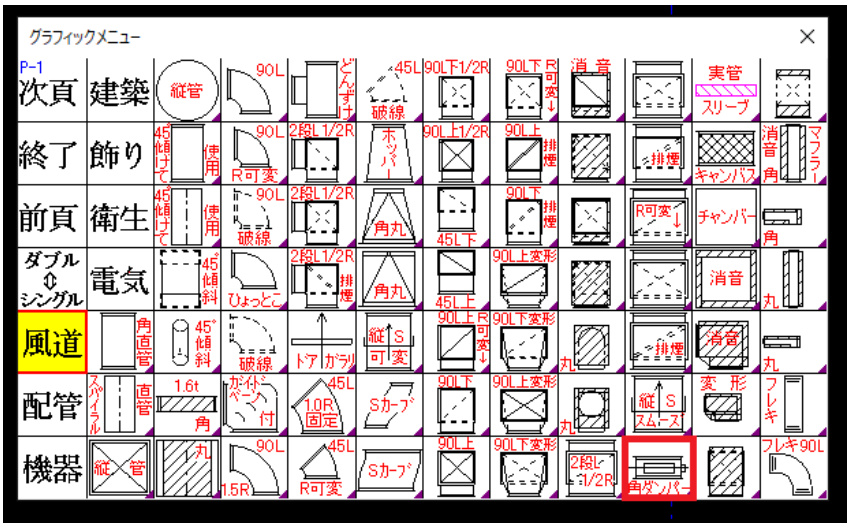
CAD 入力で、経路作図以外の部材は基本的にはグラフィックメニューから入力します。

ポップアップメニューの[部材入力]で行います。

部材をリスト形式で選択する場合は[★部材リスト入力]を行います。

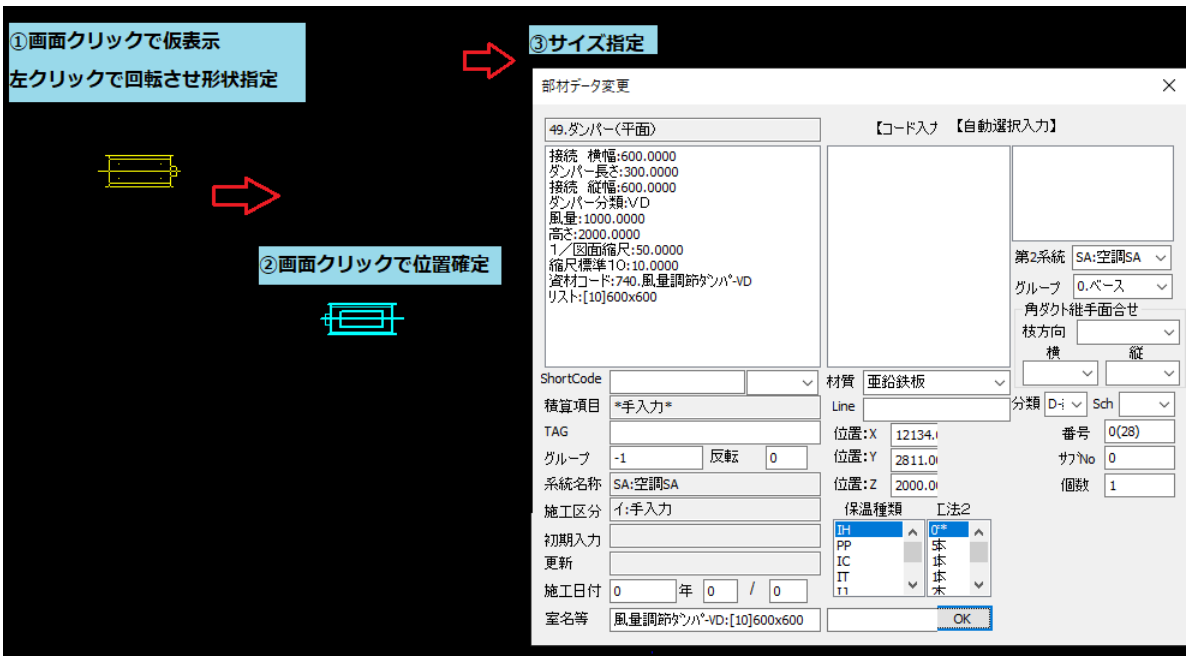


メニュー選択でグラフィックメニューが表示されますので、入力したい部材をクリックし、後に画面クリック。



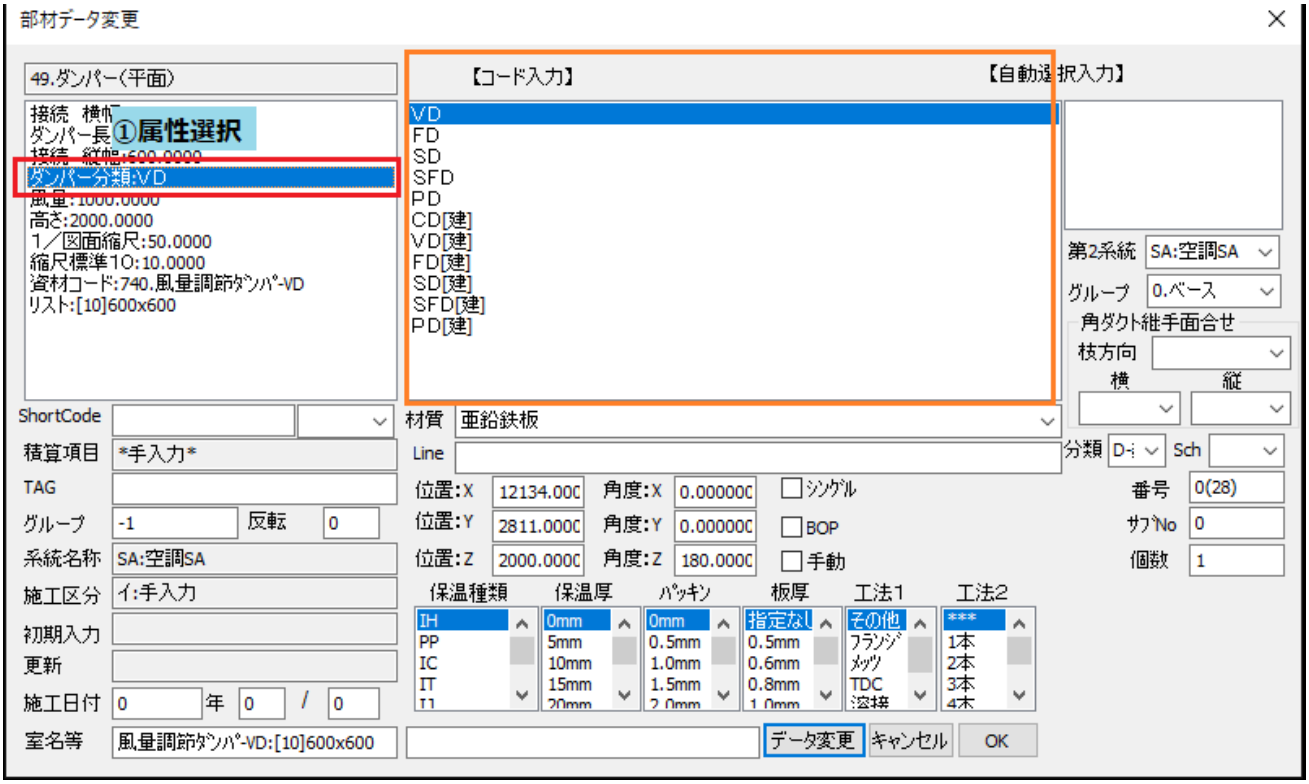
例えば、ダンパーを入力したい場合は、それをクリック

以下の手順で入力



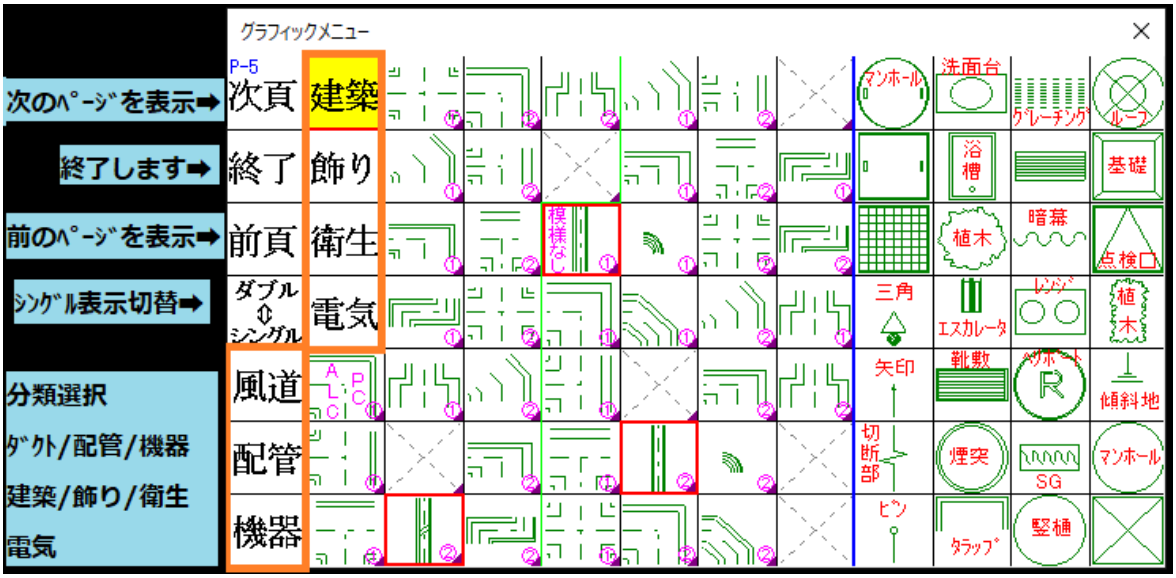
ダンパーの形状分類を変更したい場合

まず左のリストより変更項目を選択し、次に[コード入力]で形状を選択します。

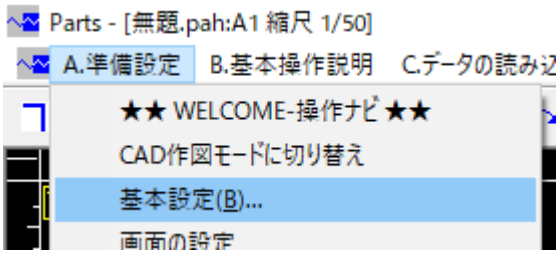


CD[建]を選択し、資材集計をしてみます。

CD[建]とは建設物価の CD の価格を使用する部材を入力するという意味です。



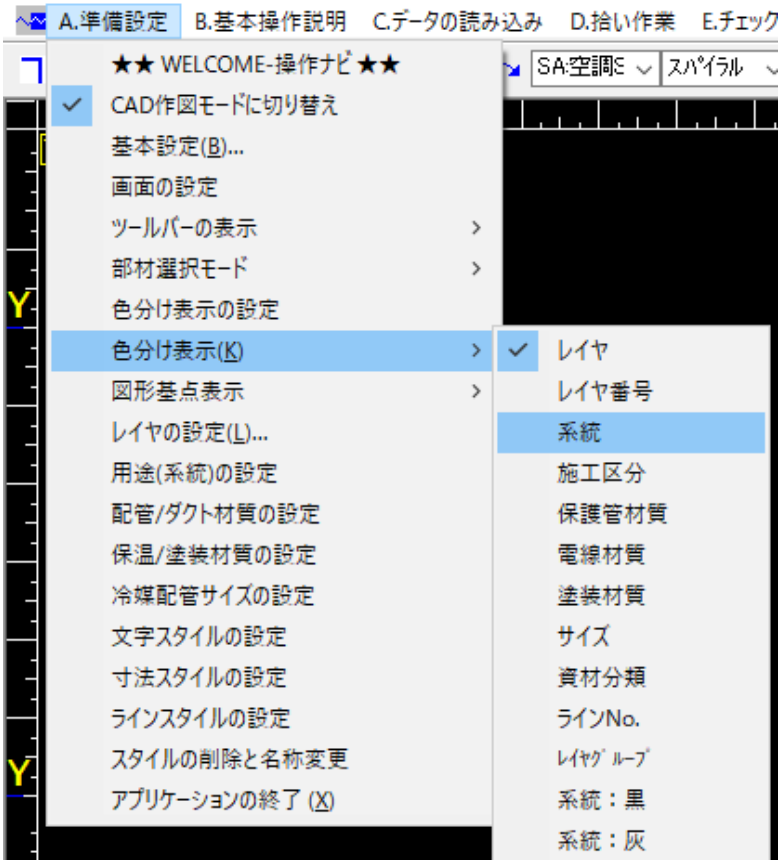
■基本設定



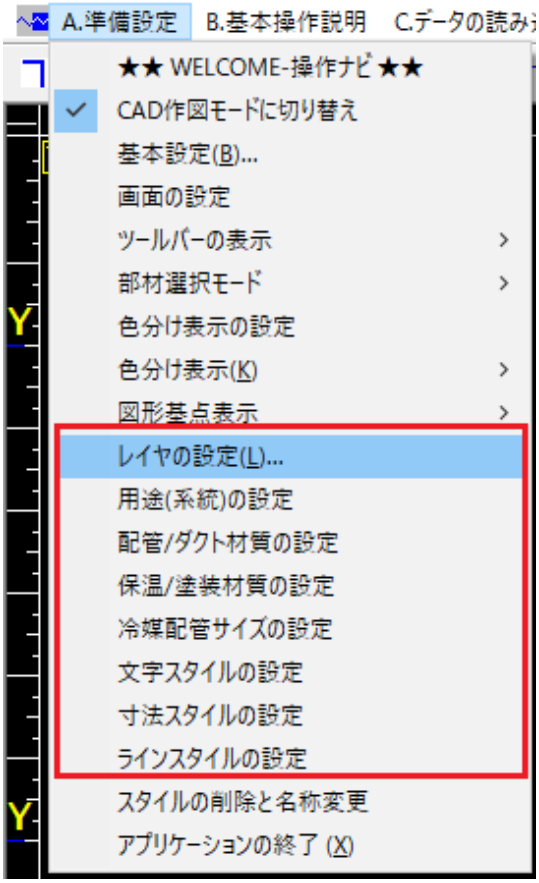
基本設定は[CAD 作図モード]の場合は詳細設定のダイアログが表示されます。

■表示関連

画面上の色分け表示の設定

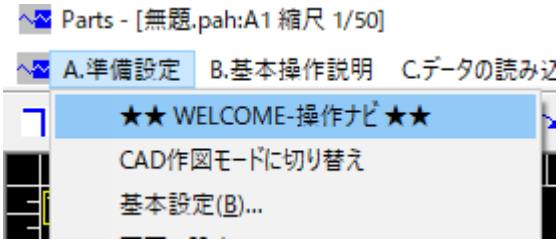


■設定関連



■操作ナビ

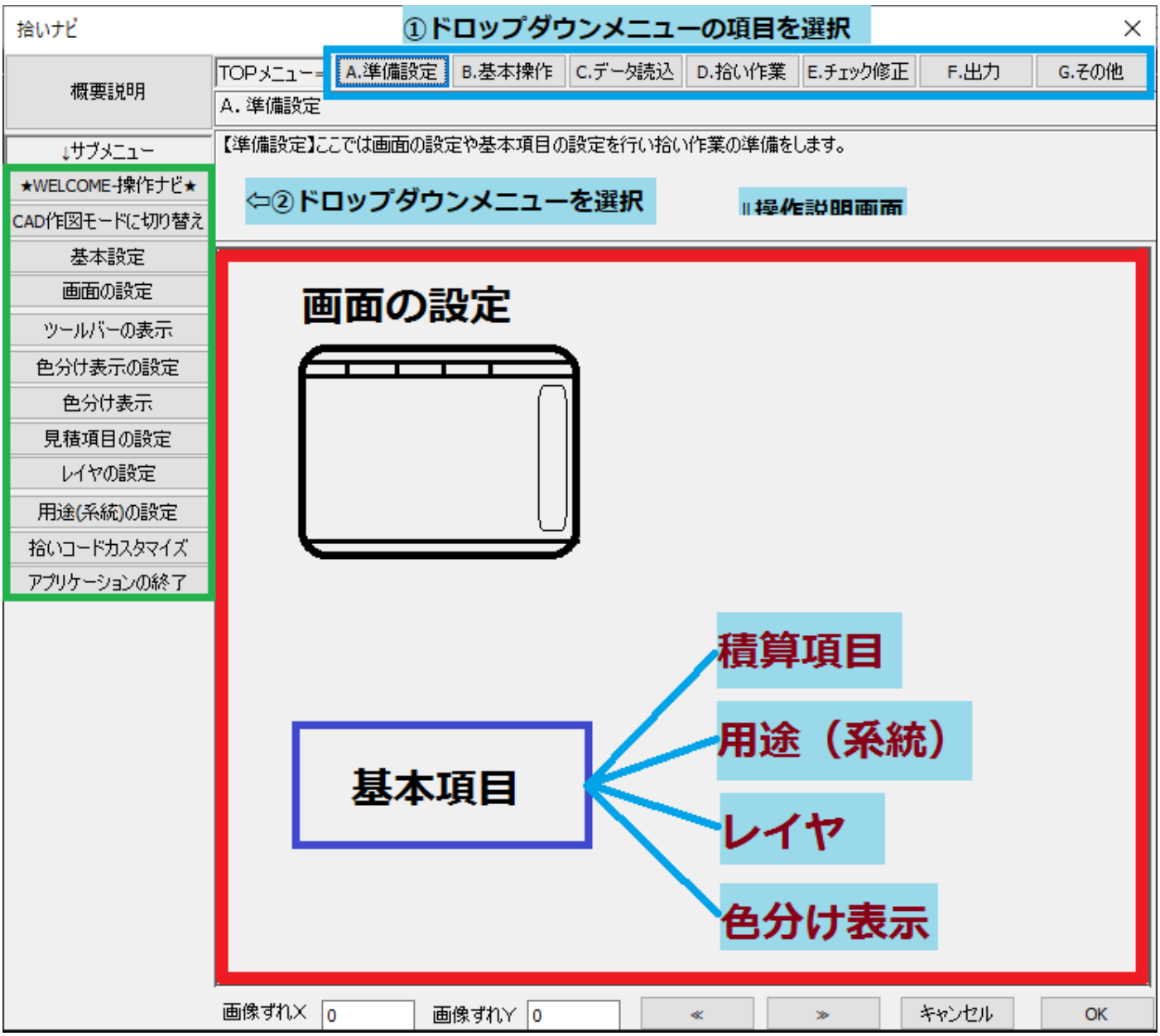
現状は、古いシステムでの説明になりますが、参考にしてください。



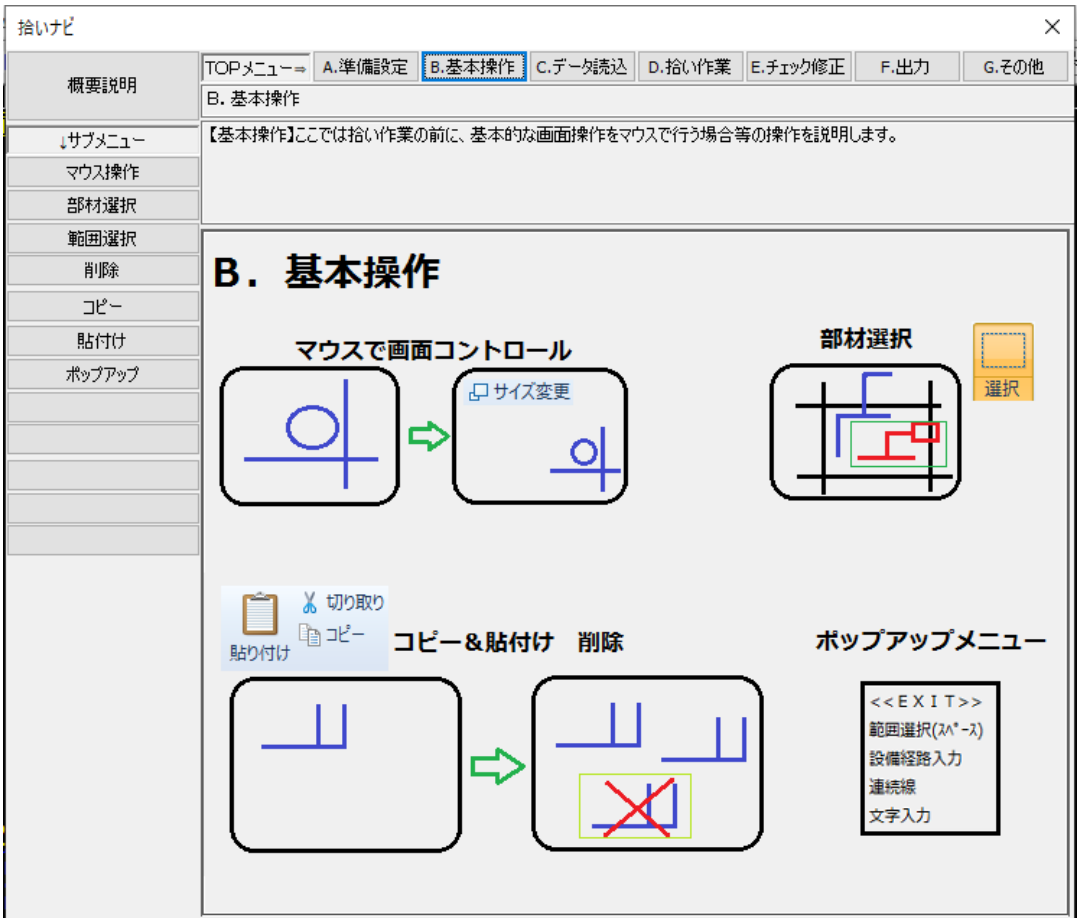
操作ナビのダイアログは、ドロップダウンメニューに沿っています。メニュー項目をクリックし説明を表示。

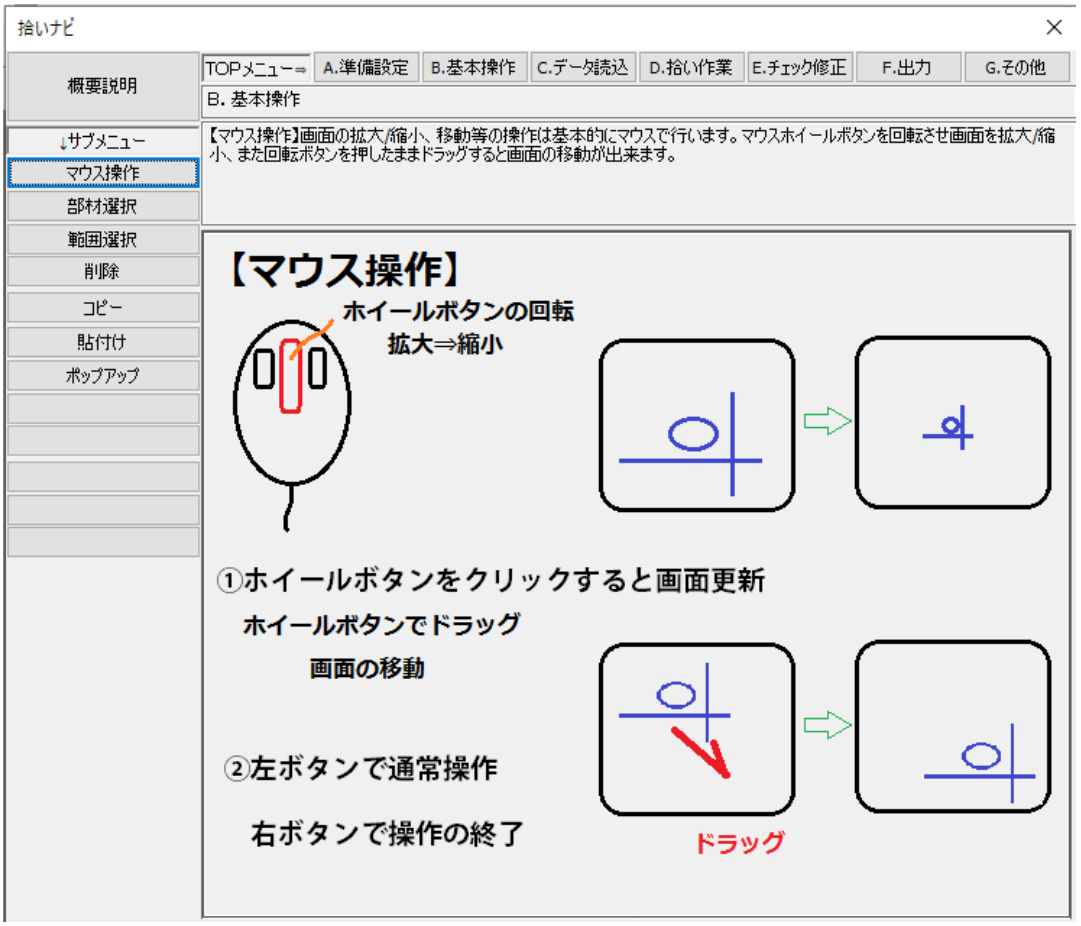
現状の説明内容は、古いシステムの内容でありますのでご了承ください。

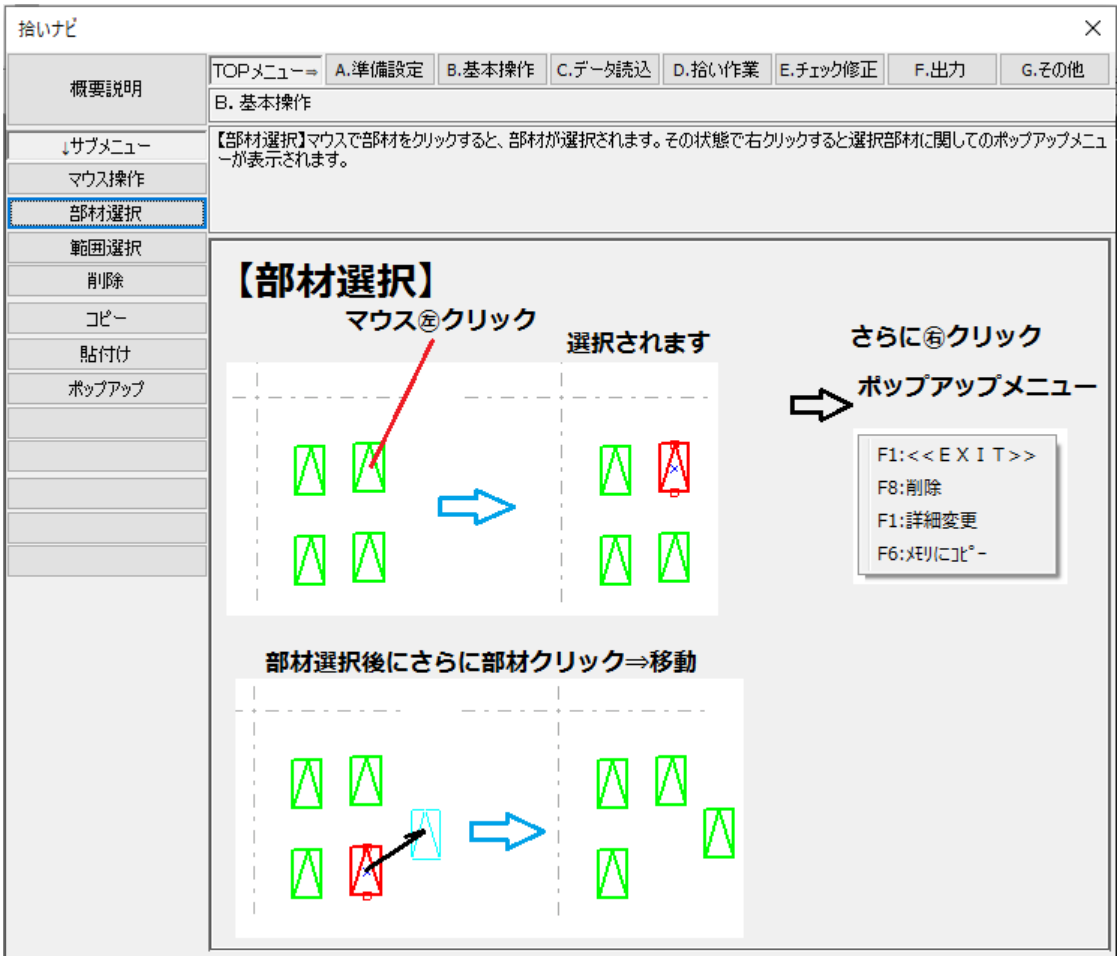
ただし、大まかな流れは一致していますので、参考程度にご使用できます。

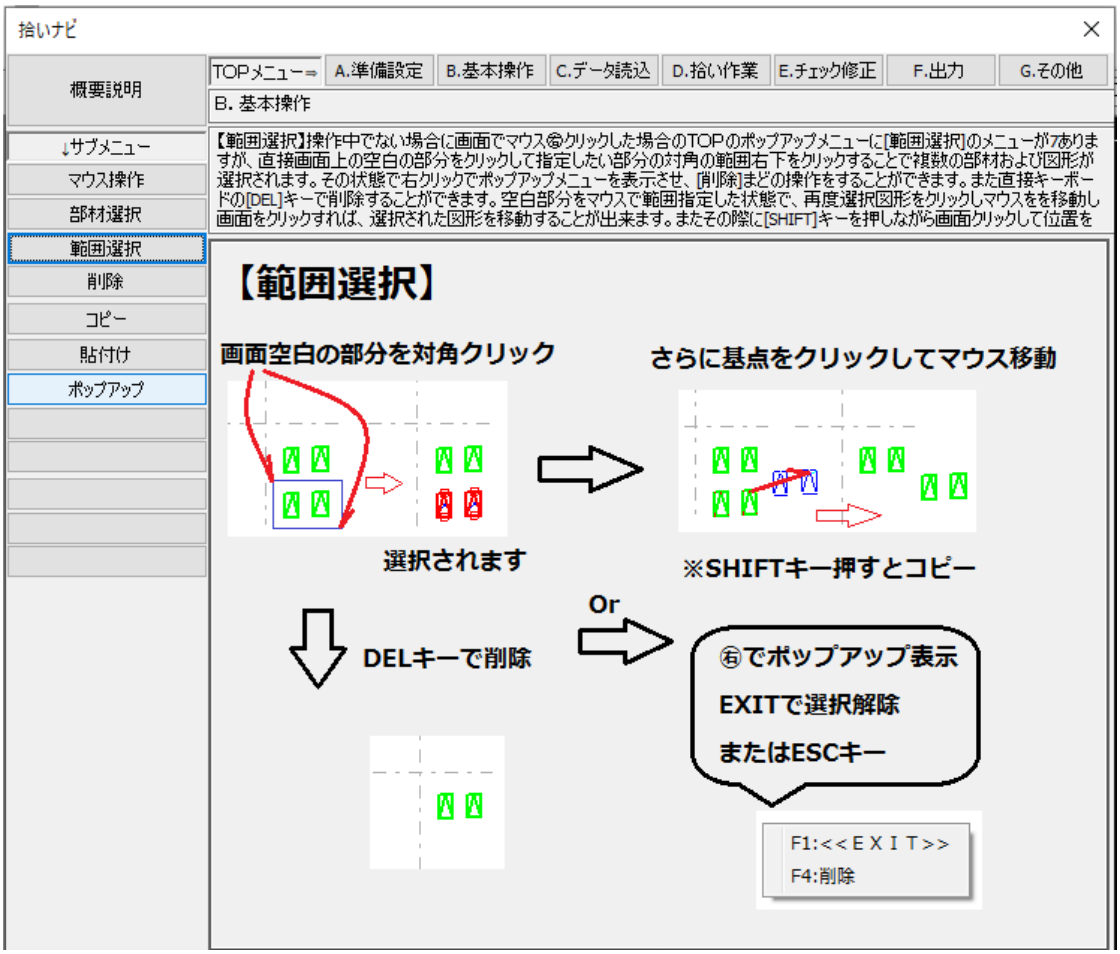


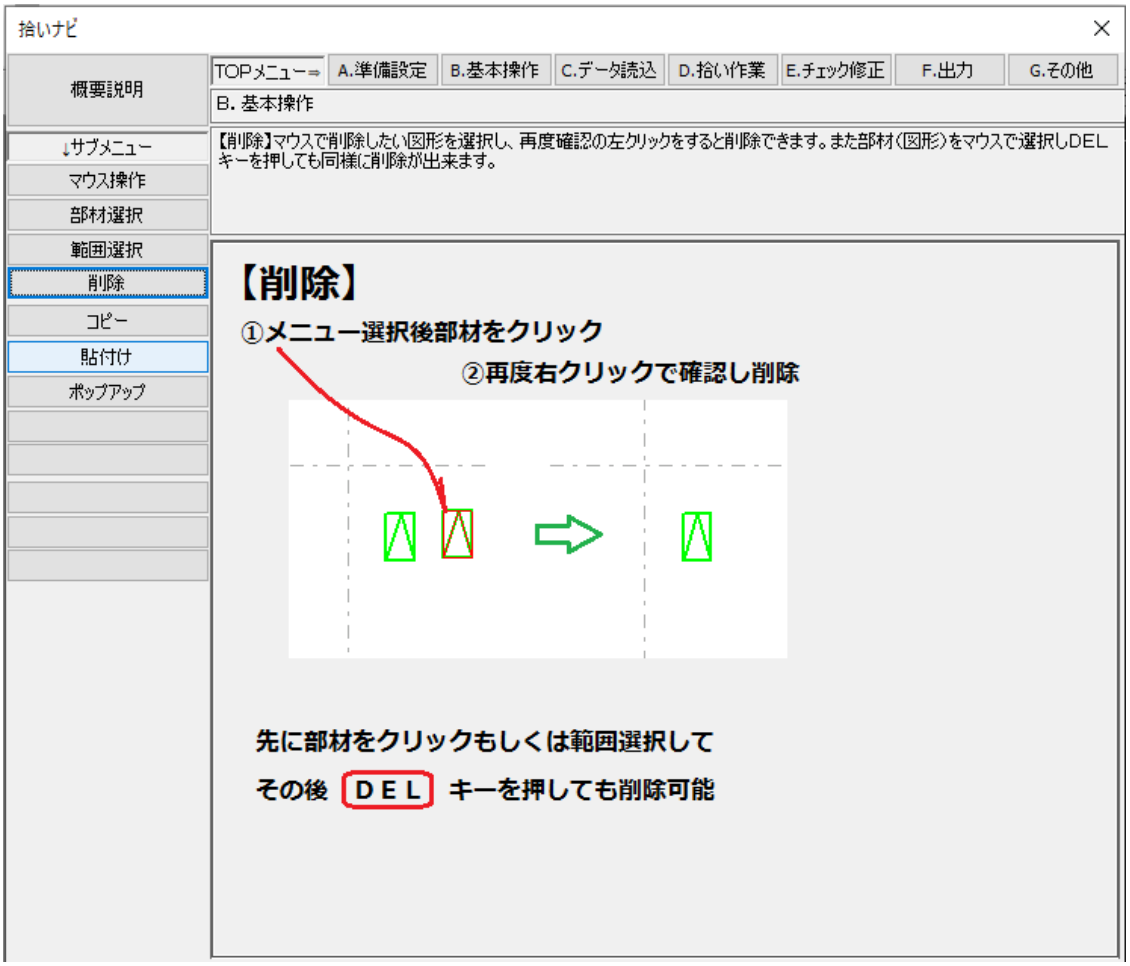
■基本操作のメニューの説明

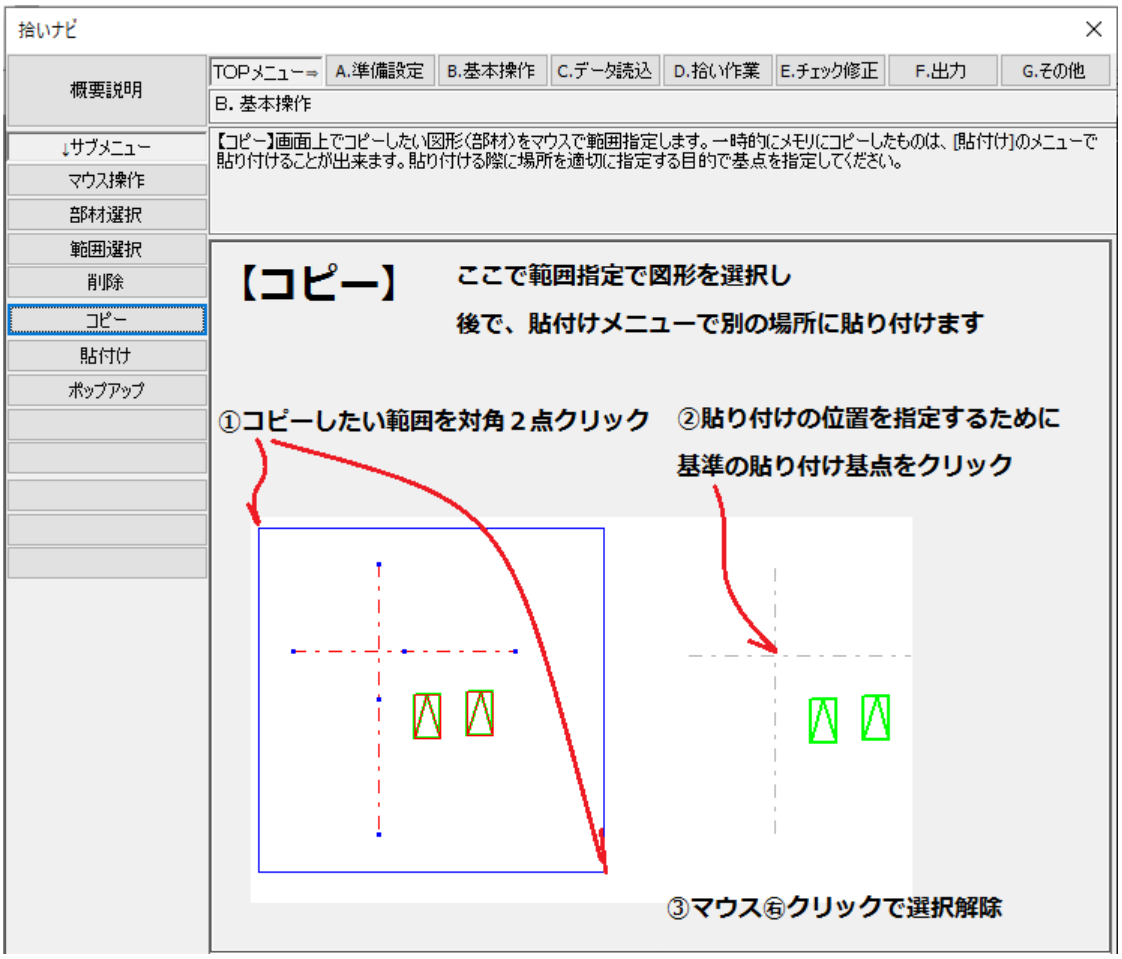


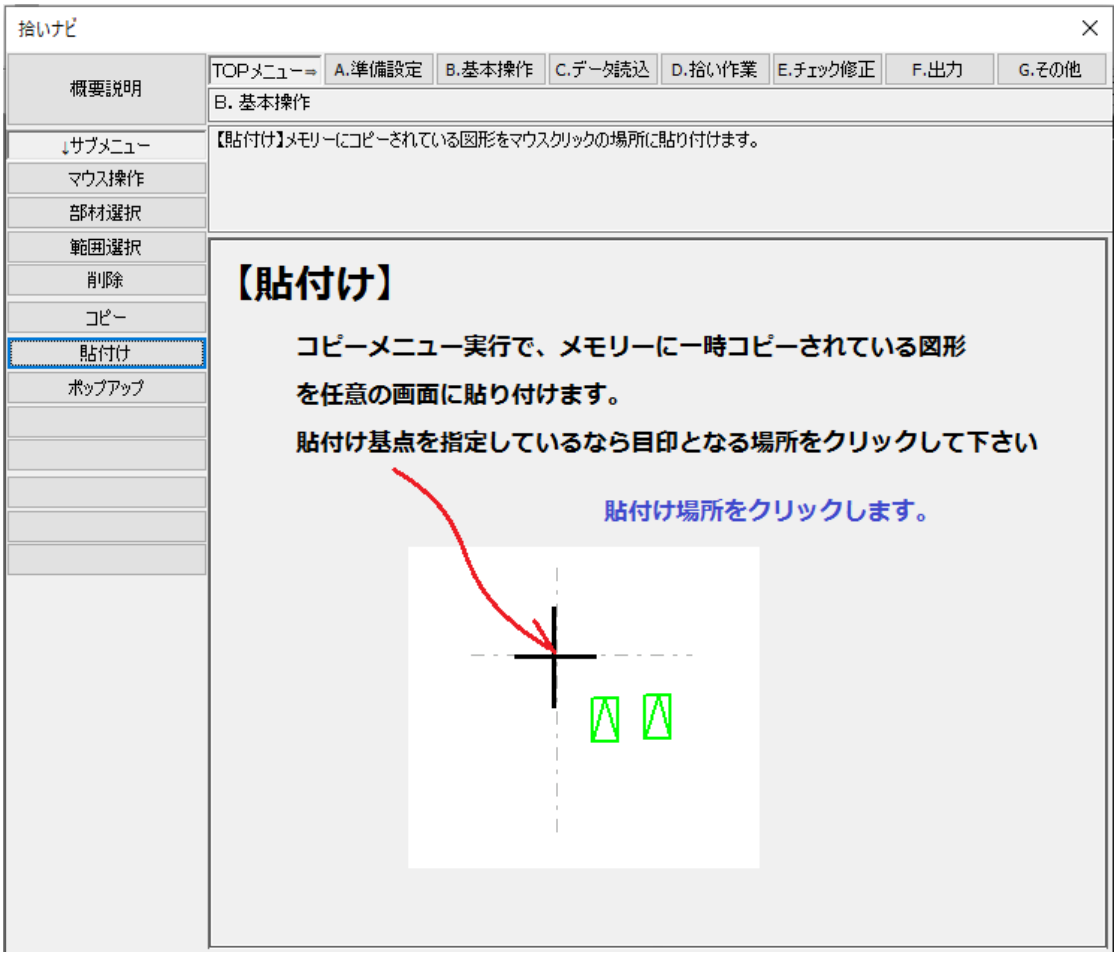


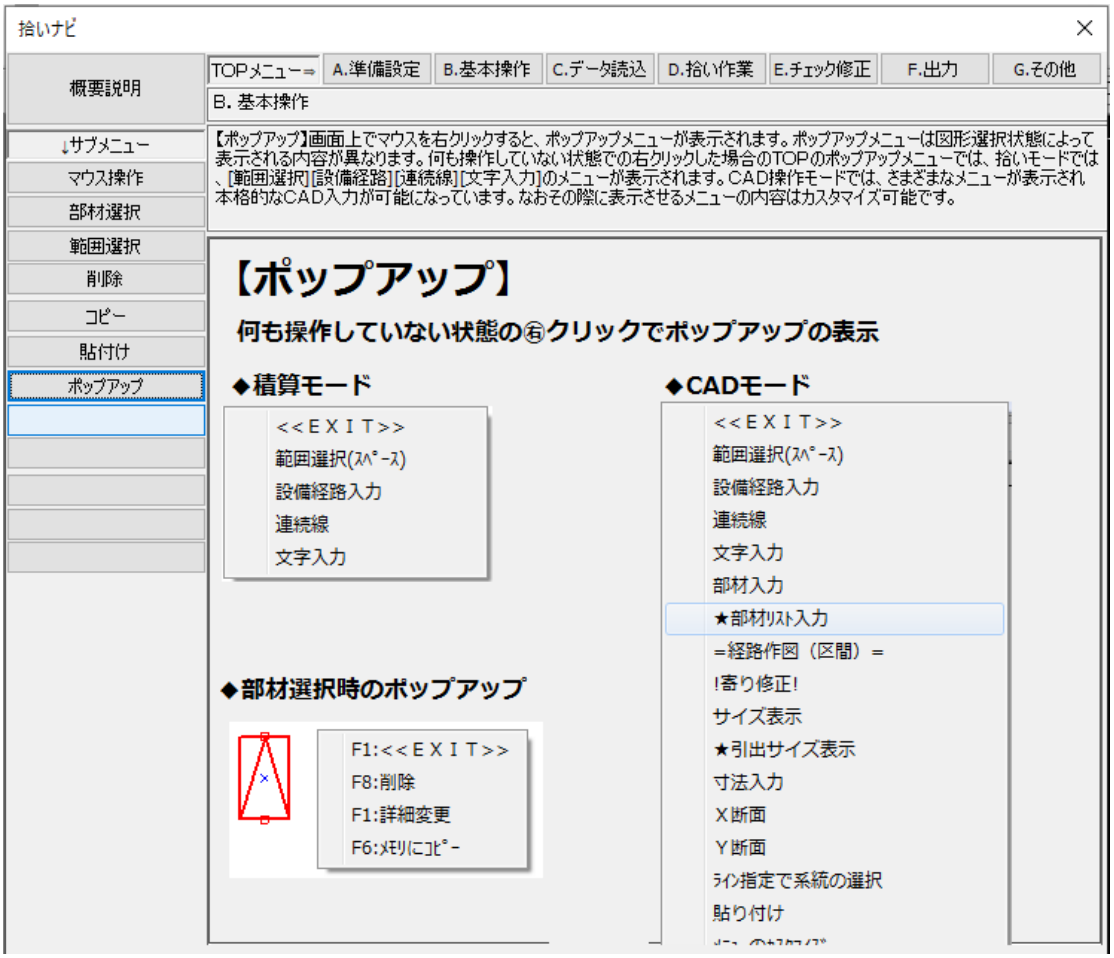

拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
B. 基本操作
↓サブメニュー
マウス操作
部材選択
範囲選択
削除
コピー
貼付け
ポップアップ
【部材選択】マウスで部材をクリックすると、部材が選択されます。その状態で右クリックすると選択部材に関してのポップアップメニューが表示されます。
【部材選択】
マウス㊧クリック
選択されます
さらに㊨クリック
ポップアップメニュー
F1:<<ＥＸＩＴ>>
F8:削除
F1:詳細変更
F6:ﾒﾓﾘにｺﾋﾟｰ
部材選択後にさらに部材クリック⇒移動


拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
B. 基本操作
↓サブメニュー
マウス操作
部材選択
範囲選択
削除
コピー
貼付け
ポップアップ
【範囲選択】操作中でない場合に画面でマウス㊧クリックした場合のTOPのポップアップメニューに[範囲選択]のメニューがありますが、直接画面上の空白の部分をクリックして指定したい部分の対角の範囲右下をクリックすることで複数の部材および図形が選択されます。その状態で右クリックでポップアップメニューを表示させ、[削除]などの操作をすることができます。また直接キーボードの[DEL]キーで削除することができます。空白部分をマウスで範囲指定した状態で、再度選択図形をクリックしマウスをを移動し画面をクリックすれば、選択された図形を移動することが出来ます。またその際に[SHIFT]キーを押しながら画面クリックして位置を
【範囲選択】
画面空白の部分を対角クリック
さらに基点をクリックしてマウス移動
選択されます
※SHIFTキー押すとコピー
Or
DELキーで削除
㊨でポップアップ表示
EXITで選択解除
またはESCキー
F1:<<ＥＸＩＴ>>
F4:削除

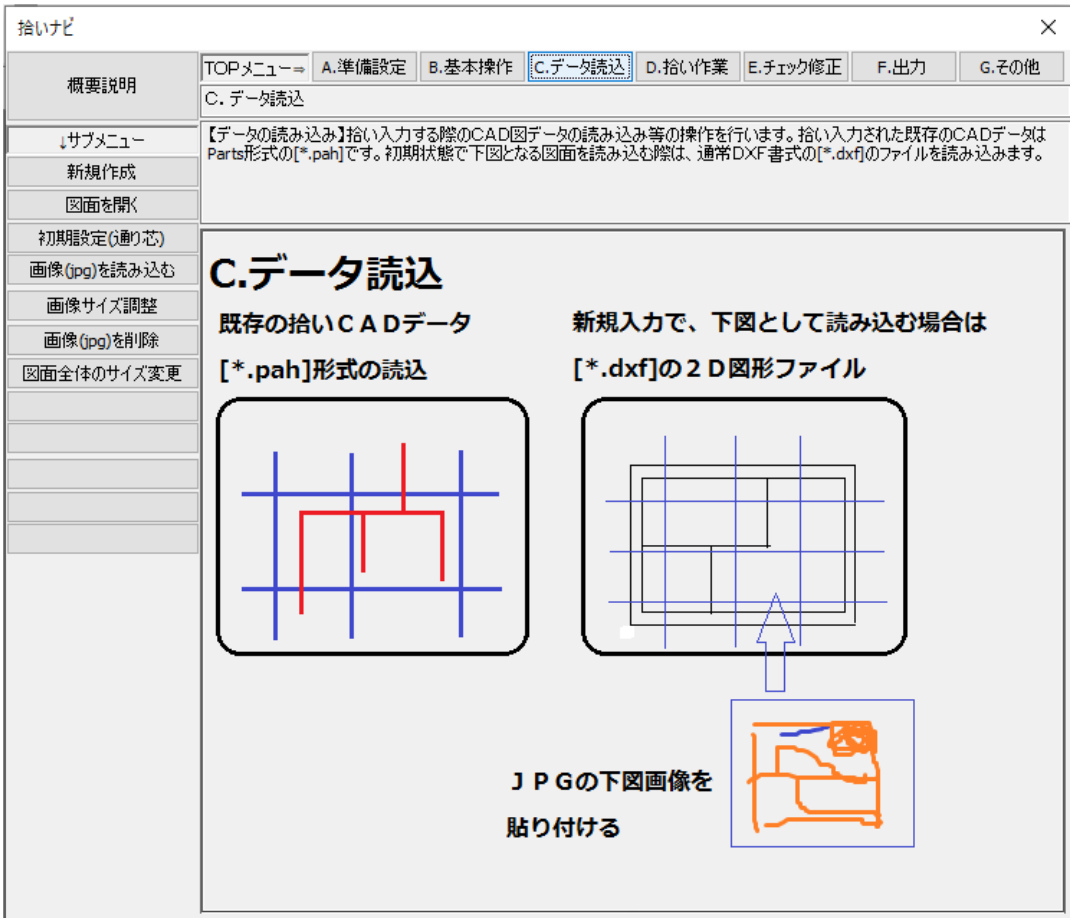

拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
B. 基本操作
↓サブメニュー
マウス操作
部材選択
範囲選択
削除
コピー
貼付け
ポップアップ
【削除】マウスで削除したい図形を選択し、再度確認の左クリックをすると削除できます。また部材(図形)をマウスで選択しDELキーを押しても同様に削除が出来ます。
【削除】
①メニュー選択後部材をクリック
②再度右クリックで確認し削除
先に部材をクリックもしくは範囲選択して
その後 DEL キーを押しても削除可能


拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
B. 基本操作
↓サブメニュー
マウス操作
部材選択
範囲選択
削除
コピー
貼付け
ポップアップ
【コピー】画面上でコピーしたい図形(部材)をマウスで範囲指定します。一時的にメモリにコピーしたものは、[貼付け]のメニューで貼り付けることが出来ます。貼り付ける際に場所を適切に指定する目的で基点を指定してください。
【コピー】
ここで範囲指定で図形を選択し
後で、貼付けメニューで別の場所に貼り付けます
①コピーしたい範囲を対角２点クリック
②貼り付けの位置を指定するために
基準の貼り付け基点をクリック
③マウス㊨クリックで選択解除


拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
B. 基本操作
↓サブメニュー
マウス操作
部材選択
範囲選択
削除
コピー
貼付け
ポップアップ
【貼付け】メモリーにコピーされている図形をマウスクリックの場所に貼り付けます。
【貼付け】
コピーメニュー実行で、メモリーに一時コピーされている図形
を任意の画面に貼り付けます。
貼付け基点を指定しているなら目印となる場所をクリックして下さい
貼付け場所をクリックします。


拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
B. 基本操作
↓サブメニュー
マウス操作
部材選択
範囲選択
削除
コピー
貼付け
ポップアップ
【ポップアップ】画面上でマウスを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューは図形選択状態によって表示される内容が異なります。何も操作していない状態での右クリックした場合のTOPのポップアップメニューでは、拾いモードでは、[範囲選択][設備経路][連続線][文字入力]のメニューが表示されます。CAD操作モードでは、さまざまなメニューが表示され本格的なCAD入力が可能になっています。なおその際に表示させるメニューの内容はカスタマイズ可能です。
【ポップアップ】
何も操作していない状態の㊨クリックでポップアップの表示
◆積算モード
<<ＥＸＩＴ>>
範囲選択(ｽﾍﾟｰｽ)
設備経路入力
連続線
文字入力
◆CADモード
<<ＥＸＩＴ>>
範囲選択(ｽﾍﾟｰｽ)
設備経路入力
連続線
文字入力
部材入力
★部材ﾘｽﾄ入力
=経路作図（区間）=
!寄り修正!
サイズ表示
★引出サイズ表示
寸法入力
Ｘ断面
Ｙ断面
ﾗｲﾝ指定で系統の選択
貼り付け
◆部材選択時のポップアップ
F1:<<ＥＸＩＴ>>
F8:削除
F1:詳細変更
F6:ﾒﾓﾘにｺﾋﾟｰ

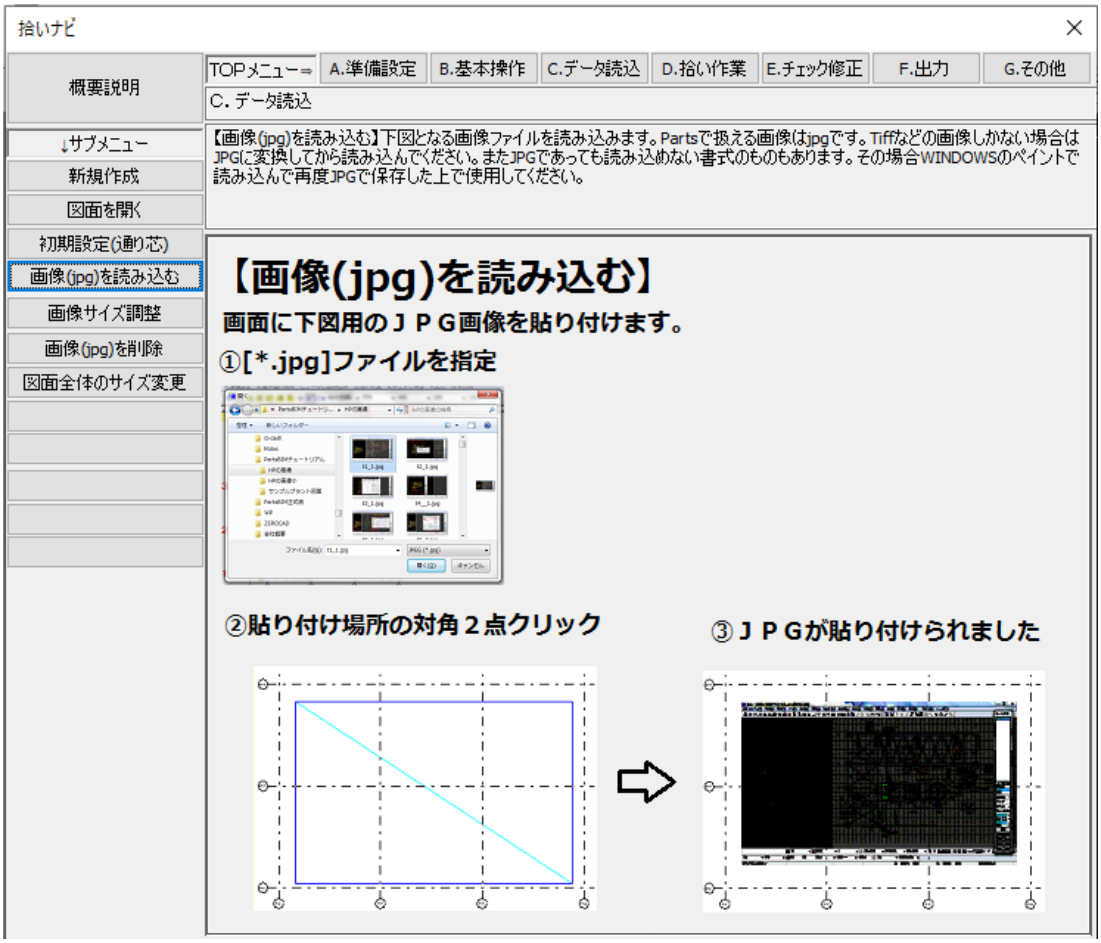
■データ読み込み

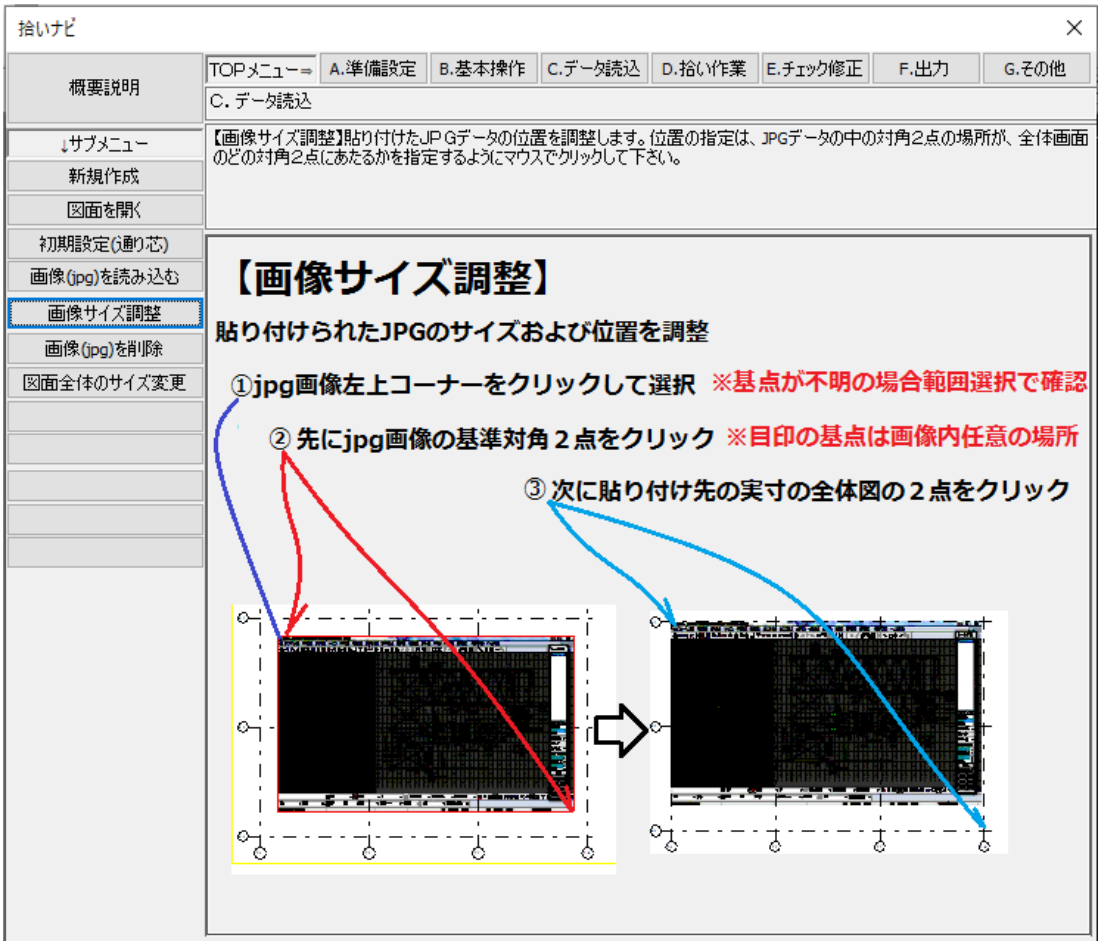

拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
C. データ読込
↓サブメニュー
新規作成
図面を開く
初期設定(通り芯)
画像(jpg)を読み込む
画像サイズ調整
画像(jpg)を削除
図面全体のサイズ変更
【データの読み込み】拾い入力する際のCAD図データの読み込み等の操作を行います。拾い入力された既存のCADデータはParts形式の[*.pah]です。初期状態で下図となる図面を読み込む際は、通常DXF書式の[*.dxf]のファイルを読み込みます。
C.データ読込
既存の拾いＣＡＤデータ
[*.pah]形式の読込
新規入力で、下図として読み込む場合は
[*.dxf]の２Ｄ図形ファイル
ＪＰＧの下図画像を
貼り付ける

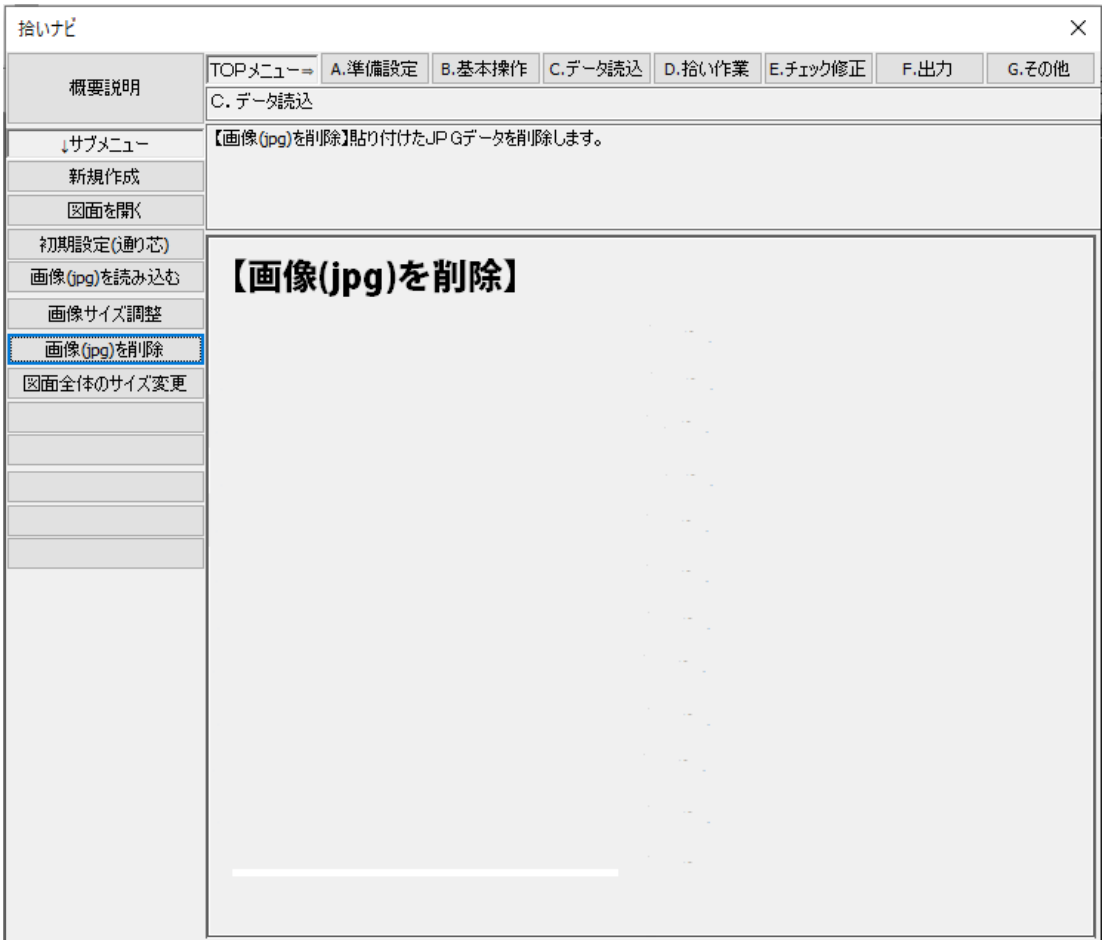
拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
C. データ読込
↓サブメニュー
新規作成
図面を開く
初期設定(通り芯)
画像(jpg)を読み込む
画像サイズ調整
画像(jpg)を削除
図面全体のサイズ変更
【新規作成】立ち上げ時の初期状態では、拾い入力すれば1ファイルのデータは「作成可能ですが、新たに1つのファイルを作成する場合は、[新規作成]のメニューを行いWINDOWをもう一つ作成します。その状態で図面を開けば、2つのファイルを開いた状態で操作が出来ます。ただし、データが重くなりますのでできれば最小限のファイルを開いた状態で操作してください。
【新規作成】
作業中の図面とは別にもう一つ
作図領域を追加します。そこに既存拾いデータを読み込みたい場合は
その後に[Parts図面を開く]を行ってください。
新たに作図領域を追加

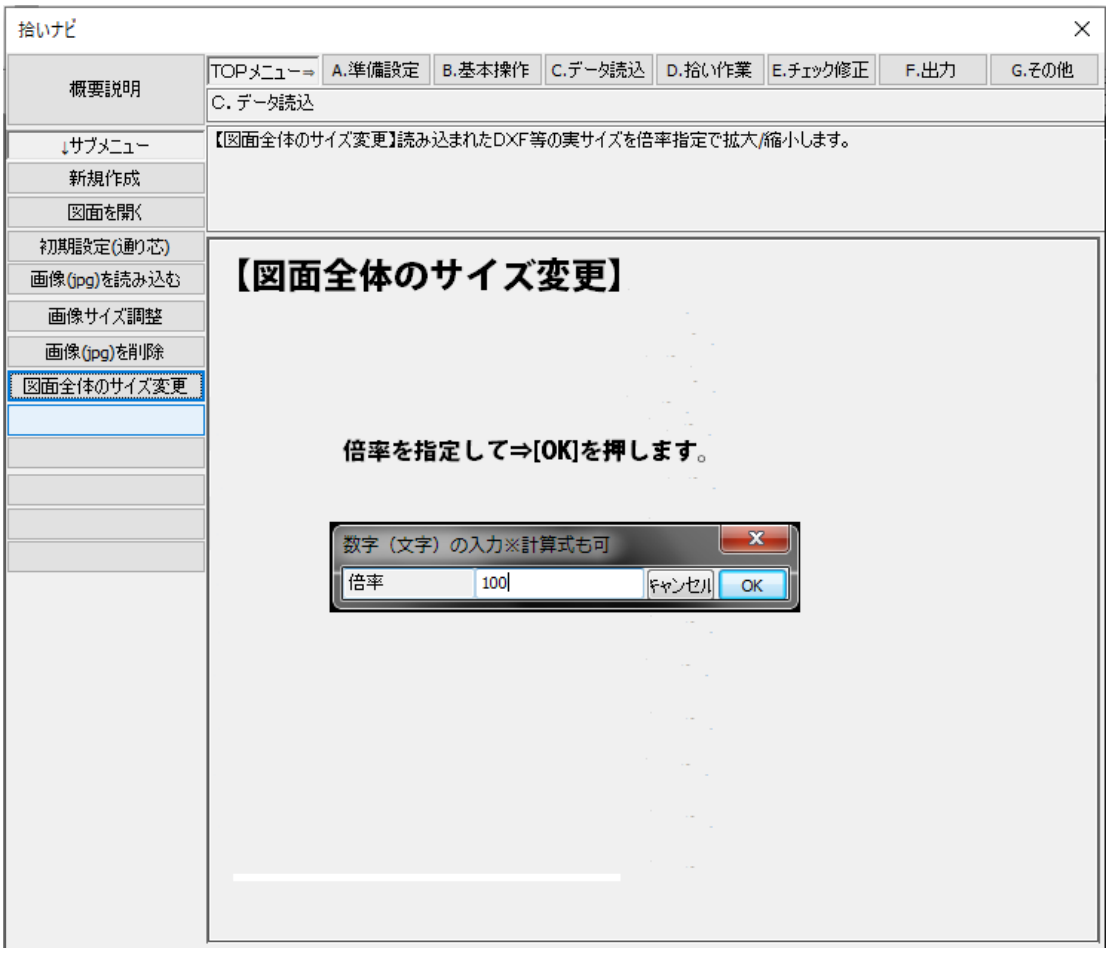
拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
C. データ読込
↓サブメニュー
新規作成
図面を開く
初期設定(通り芯)
画像(jpg)を読み込む
画像サイズ調整
画像(jpg)を削除
図面全体のサイズ変更
【図面を開く】既存の拾い入力された既存の図面を開きます。ファイル書式は[*.pah]です。新規で下図のDXFファイルを開く場合は読み込むファイルの種類を[*.dxf]にしてからファイルを指定してください
【図面を開く】
既存の拾い入力したファイルを開く
先に入力した図面があるなら保存してください
下図のDXFファイルを開く場合は読み込むファイルの種類を[*.dxf]にしてからファイルを指定してください
Parts
データが変更されています。このまま上書きで読み込みますか？
OK
キャンセル
[*.pah]形式で読込

拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
C. データ読込
↓サブメニュー
新規作成
図面を開く
初期設定(通り芯)
画像(jpg)を読み込む
画像サイズ調整
画像(jpg)を削除
図面全体のサイズ変更
【初期設定(通り芯)】図面全体の基準となる縦横の基準線(通り芯)を正しく設定したい場合に使用します。その必要がなければ行わなくても構いません。
【初期設定（通り芯）】
初期状態で通り芯（基準線）の設定を行います。
縦横の間隔と文字を設定
チェックし基準線を出力⇒
キャンセル
OK

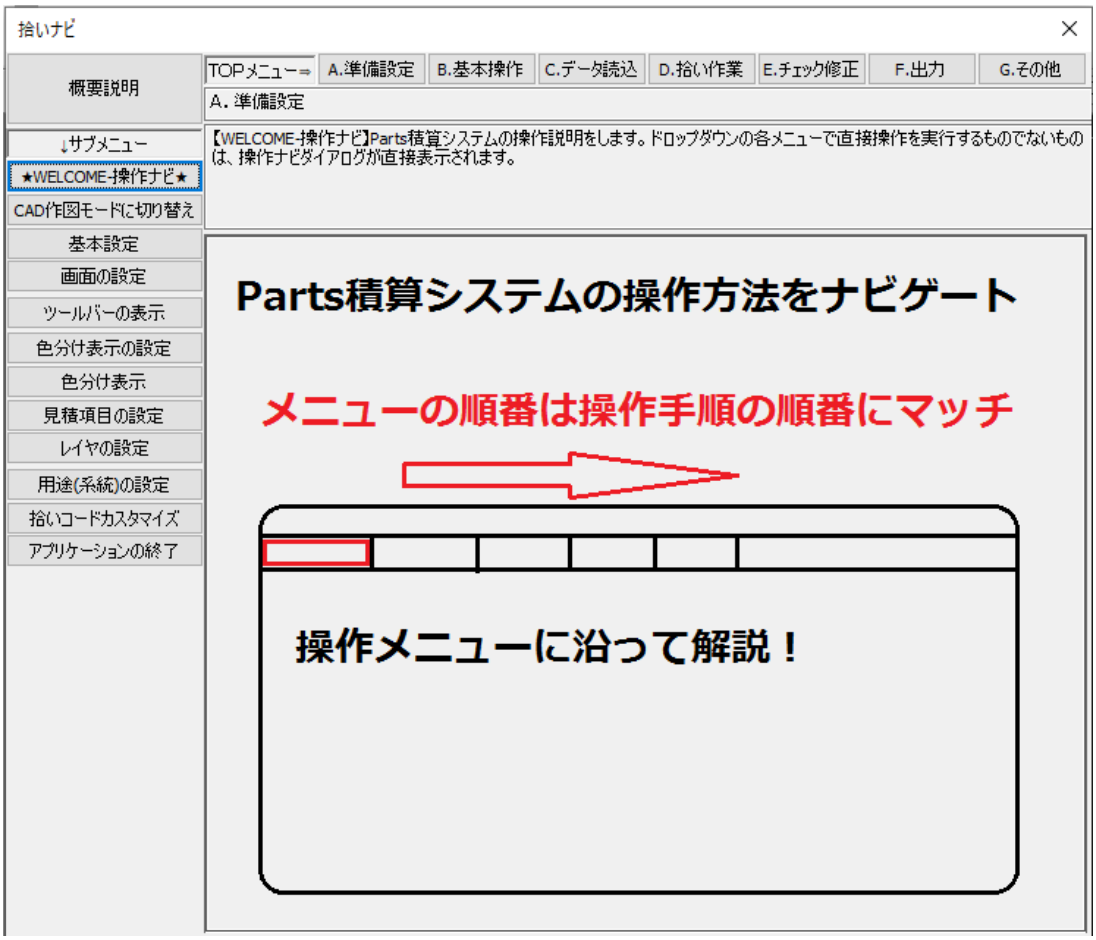

拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
C. データ読込
↓サブメニュー
新規作成
図面を開く
初期設定(通り芯)
画像(jpg)を読み込む
画像サイズ調整
画像(jpg)を削除
図面全体のサイズ変更
【画像(jpg)を読み込む】下図となる画像ファイルを読み込みます。Partsで扱える画像はjpgです。Tiffなどの画像しかない場合はJPGに変換してから読み込んでください。またJPGであっても読み込めない書式のものもあります。その場合WINDOWSのペイントで読み込んで再度JPGで保存した上で使用してください。
【画像(jpg)を読み込む】
画面に下図用のＪＰＧ画像を貼り付けます。
①[*.jpg]ファイルを指定
②貼り付け場所の対角２点クリック
③ＪＰＧが貼り付けられました

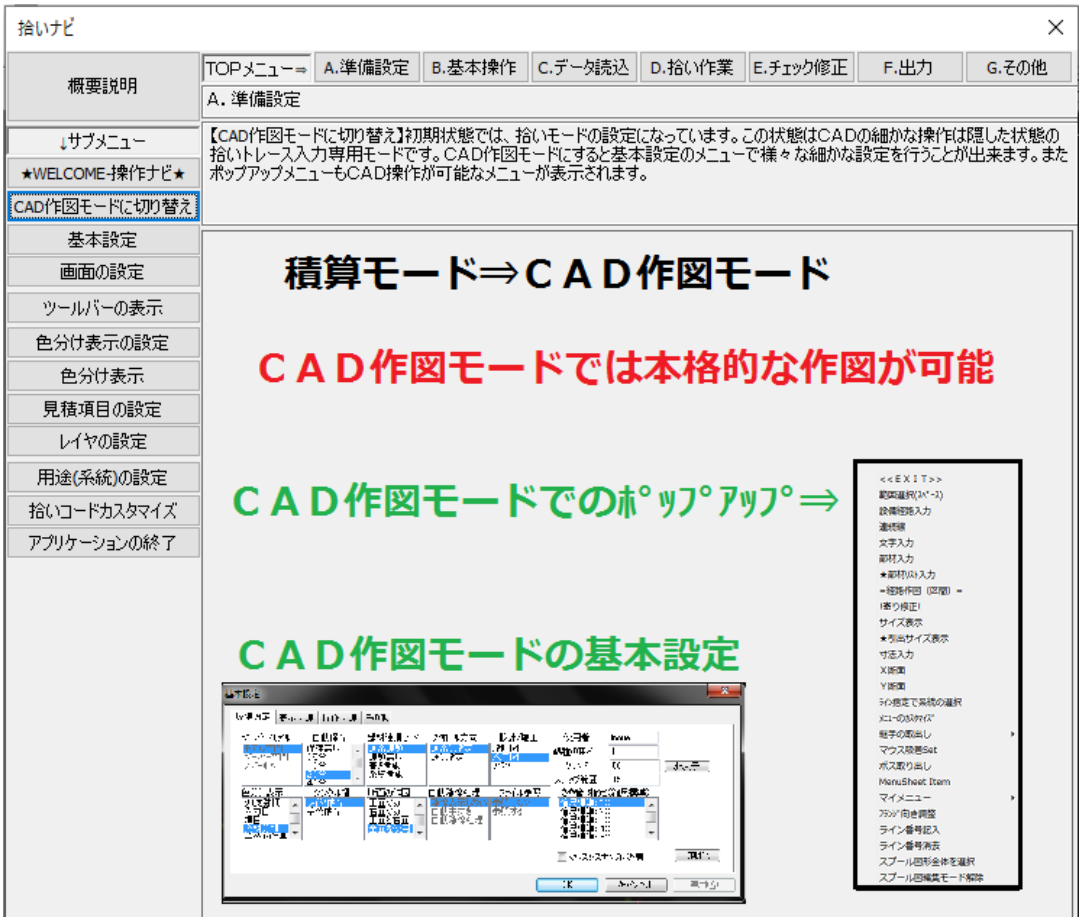

拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
C. データ読込
↓サブメニュー
新規作成
図面を開く
初期設定(通り芯)
画像(jpg)を読み込む
画像サイズ調整
画像(jpg)を削除
図面全体のサイズ変更
【画像サイズ調整】貼り付けたJPGデータの位置を調整します。位置の指定は、JPGデータの中の対角2点の場所が、全体画面のどの対角2点にあたるかを指定するようにマウスでクリックして下さい。
【画像サイズ調整】
貼り付けられたJPGのサイズおよび位置を調整
①jpg画像左上コーナーをクリックして選択
※基点が不明の場合範囲選択で確認
② 先にjpg画像の基準対角２点をクリック
※目印の基点は画像内任意の場所
③ 次に貼り付け先の実寸の全体図の２点をクリック

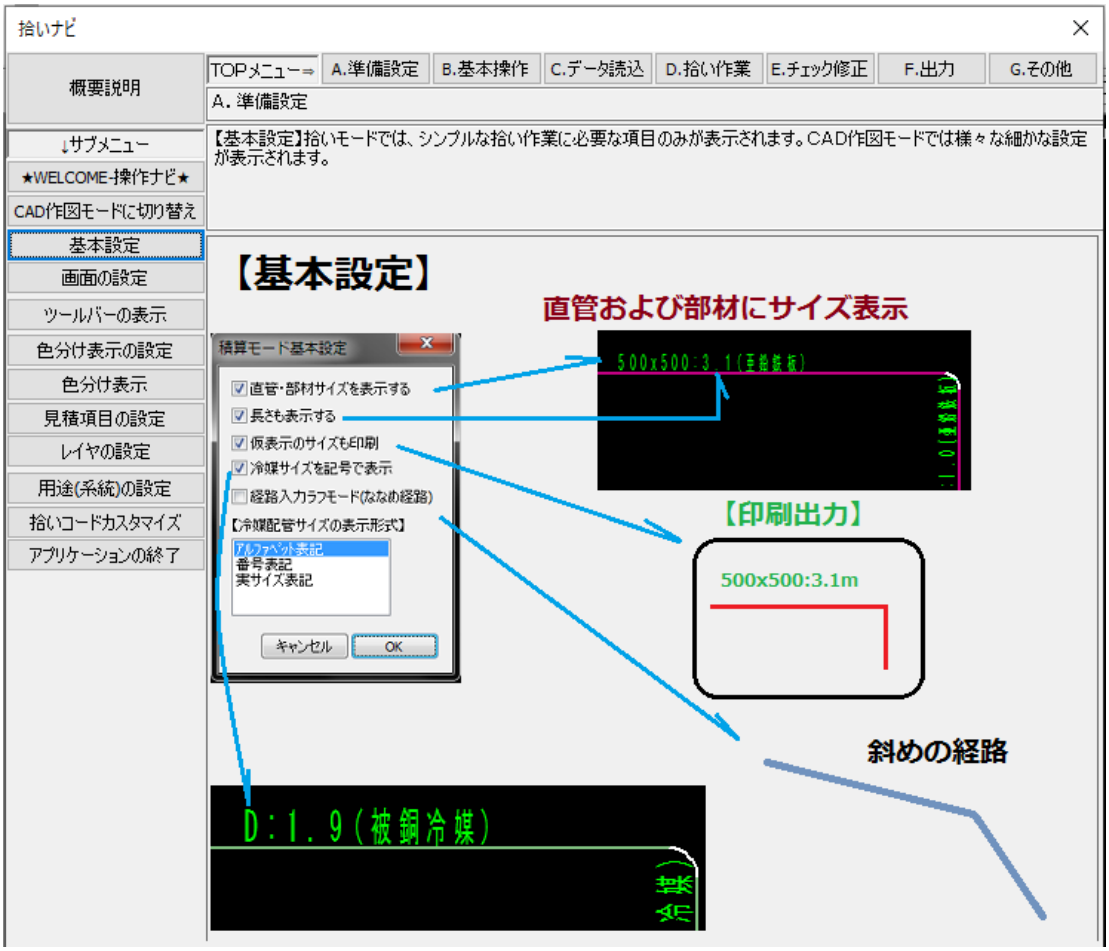

拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
C. データ読込
↓サブメニュー
新規作成
図面を開く
初期設定(通り芯)
画像(jpg)を読み込む
画像サイズ調整
画像(jpg)を削除
図面全体のサイズ変更
【画像(jpg)を削除】貼り付けたJPGデータを削除します。
【画像(jpg)を削除】

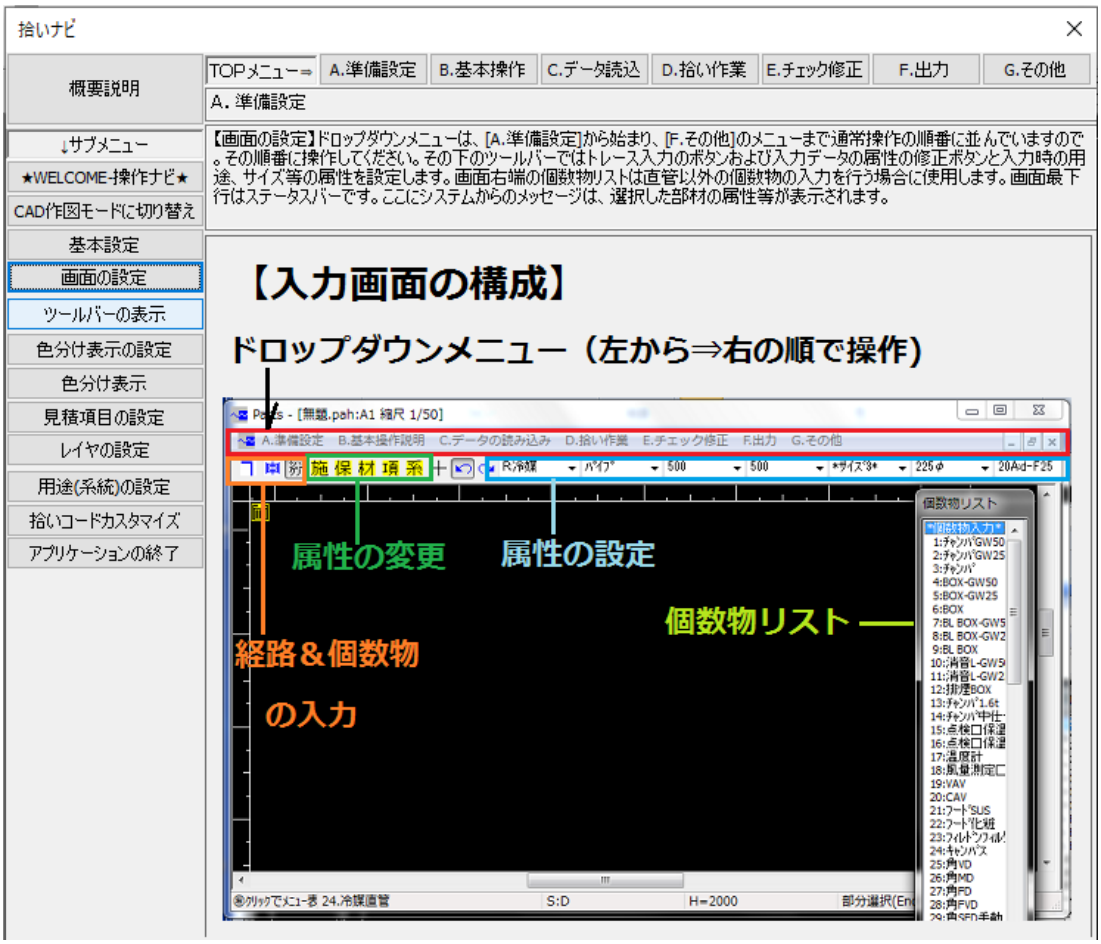

拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
C. データ読込
↓サブメニュー
新規作成
図面を開く
初期設定(通り芯)
画像(jpg)を読み込む
画像サイズ調整
画像(jpg)を削除
図面全体のサイズ変更
【図面全体のサイズ変更】読み込まれたDXF等の実サイズを倍率指定で拡大/縮小します。
【図面全体のサイズ変更】
倍率を指定して⇒[OK]を押します。
数字（文字）の入力※計算式も可
倍率
100
キャンセル
OK

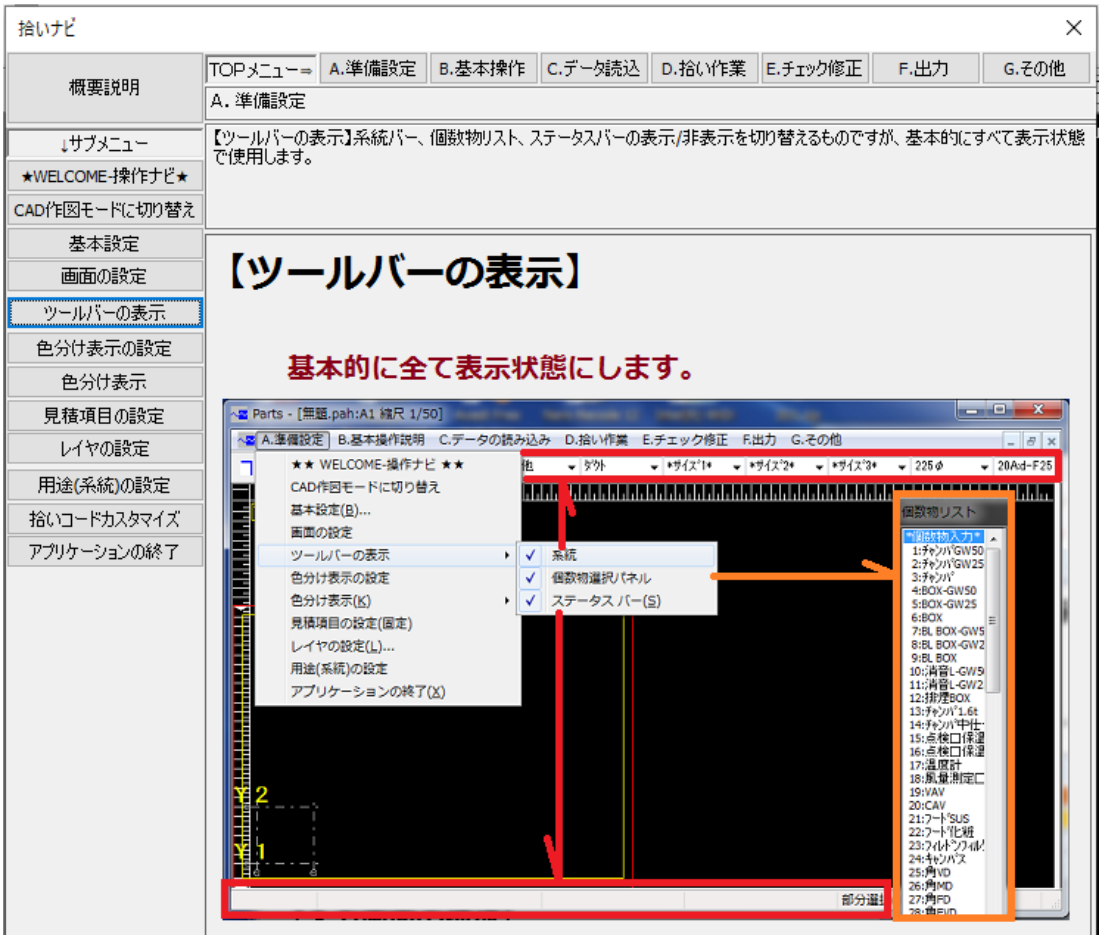
■準備設定

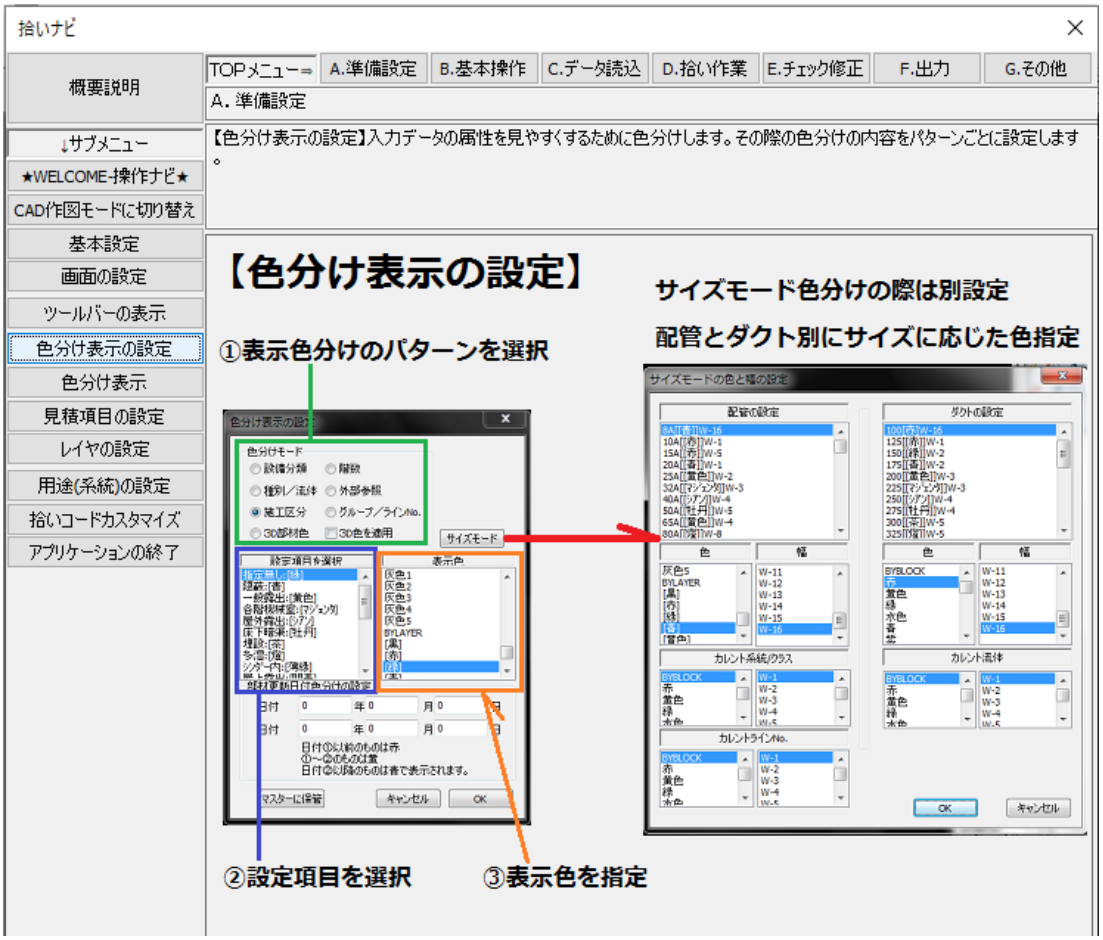

拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
A. 準備設定
↓サブメニュー
★WELCOME-操作ナビ★
CAD作図モードに切り替え
基本設定
画面の設定
ツールバーの表示
色分け表示の設定
色分け表示
見積項目の設定
レイヤの設定
用途(系統)の設定
拾いコードカスタマイズ
アプリケーションの終了
【WELCOME-操作ナビ】Parts積算システムの操作説明をします。ドロップダウンの各メニューで直接操作を実行するものでないものは、操作ナビダイアログが直接表示されます。
Parts積算システムの操作方法をナビゲート
メニューの順番は操作手順の順番にマッチ
操作メニューに沿って解説！

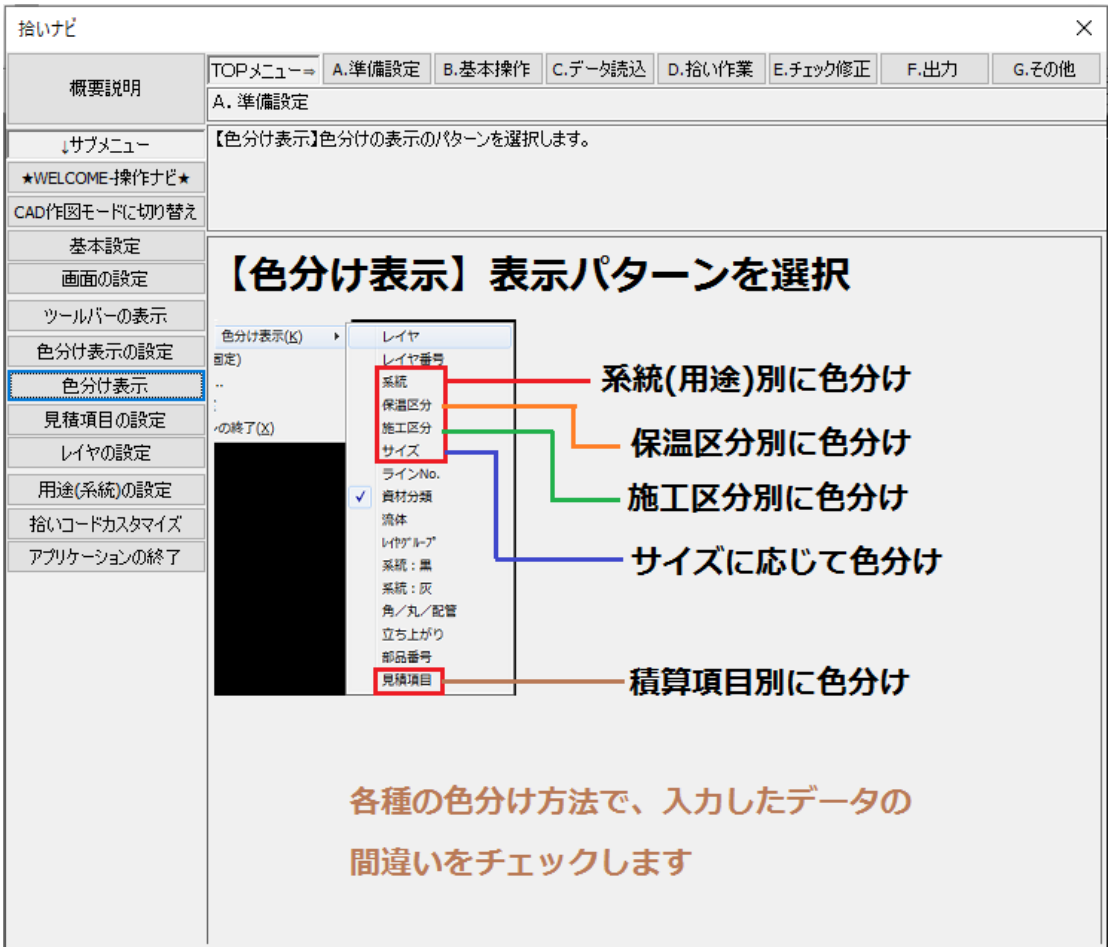

拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
A. 準備設定
↓サブメニュー
★WELCOME-操作ナビ★
CAD作図モードに切り替え
基本設定
画面の設定
ツールバーの表示
色分け表示の設定
色分け表示
見積項目の設定
レイヤの設定
用途(系統)の設定
拾いコードカスタマイズ
アプリケーションの終了
【CAD作図モードに切り替え】初期状態では、拾いモードの設定になっています。この状態はCADの細かな操作は隠した状態の拾いトレース入力専用モードです。CAD作図モードにすると基本設定のメニューで様々な細かな設定を行うことが出来ます。またポップアップメニューもCAD操作が可能なメニューが表示されます。
積算モード⇒ＣＡＤ作図モード
ＣＡＤ作図モードでは本格的な作図が可能
ＣＡＤ作図モードでのﾎﾟｯﾌﾟｱｯﾌﾟ⇒
ＣＡＤ作図モードの基本設定

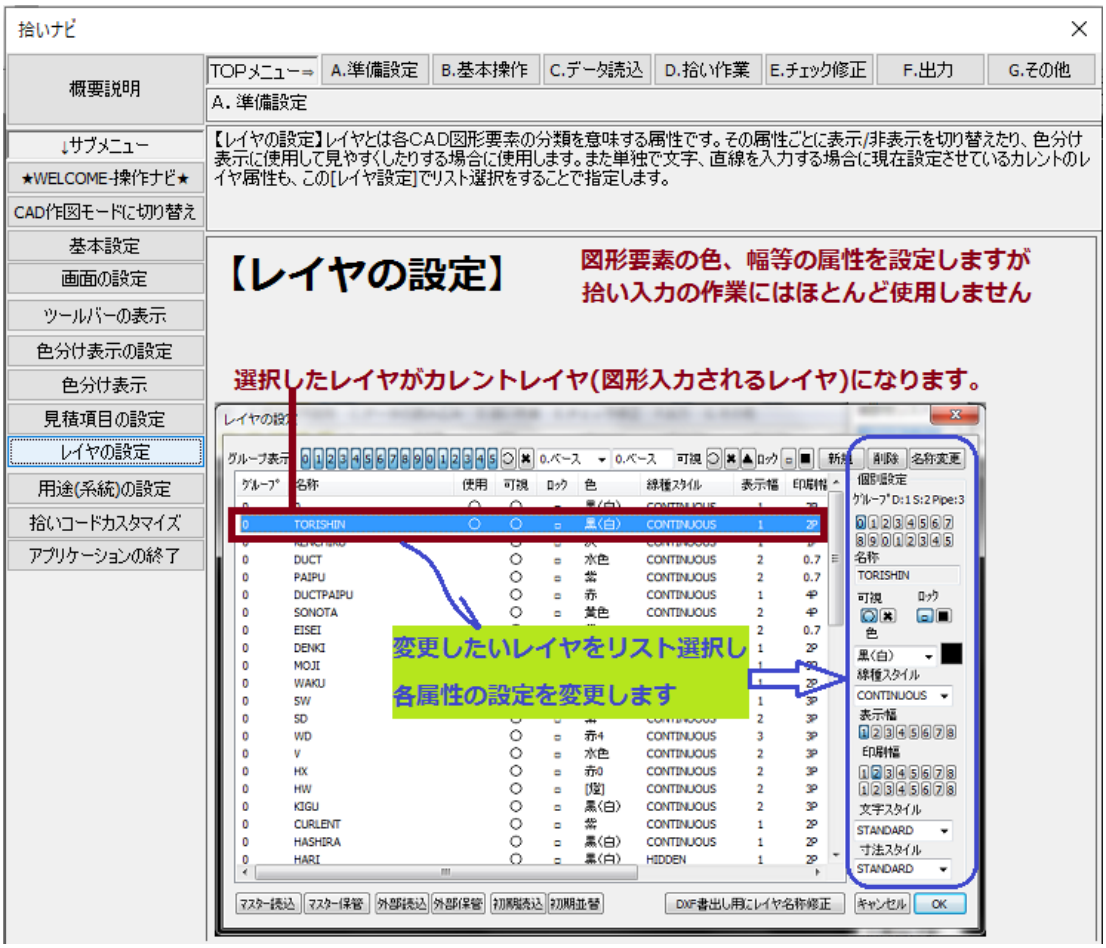

拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
A. 準備設定
↓サブメニュー
★WELCOME-操作ナビ★
CAD作図モードに切り替え
基本設定
画面の設定
ツールバーの表示
色分け表示の設定
色分け表示
見積項目の設定
レイヤの設定
用途(系統)の設定
拾いコードカスタマイズ
アプリケーションの終了
【基本設定】拾いモードでは、シンプルな拾い作業に必要な項目のみが表示されます。CAD作図モードでは様々な細かな設定が表示されます。
【基本設定】
直管および部材にサイズ表示
積算モード基本設定
直管・部材サイズを表示する
長さも表示する
仮表示のサイズも印刷
冷媒サイズを記号で表示
経路入力ラフモード(ななめ経路)
【冷媒配管サイズの表示形式】
アルファベット表記
番号表記
実サイズ表記
キャンセル
OK
500x500:3.1(手曲鉄板)
【印刷出力】
500x500:3.1m
斜めの経路
D:1.9(被銅冷媒)


拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
A. 準備設定
↓サブメニュー
★WELCOME-操作ナビ★
CAD作図モードに切り替え
基本設定
画面の設定
ツールバーの表示
色分け表示の設定
色分け表示
見積項目の設定
レイヤの設定
用途(系統)の設定
拾いコードカスタマイズ
アプリケーションの終了
【画面の設定】ドロップダウンメニューは、[A.準備設定]から始まり、[F.その他]のメニューまで通常操作の順番に並んでいますので。その順番に操作してください。その下のツールバーではトレース入力のボタンおよび入力データの属性の修正ボタンと入力時の用途、サイズ等の属性を設定します。画面右端の個数物リストは直管以外の個数物の入力を行う場合に使用します。画面最下行はステータスバーです。ここにシステムからのメッセージは、選択した部材の属性等が表示されます。
【入力画面の構成】
ドロップダウンメニュー（左から⇒右の順で操作）
属性の変更
属性の設定
個数物リスト
経路＆個数物
の入力
個数物リスト

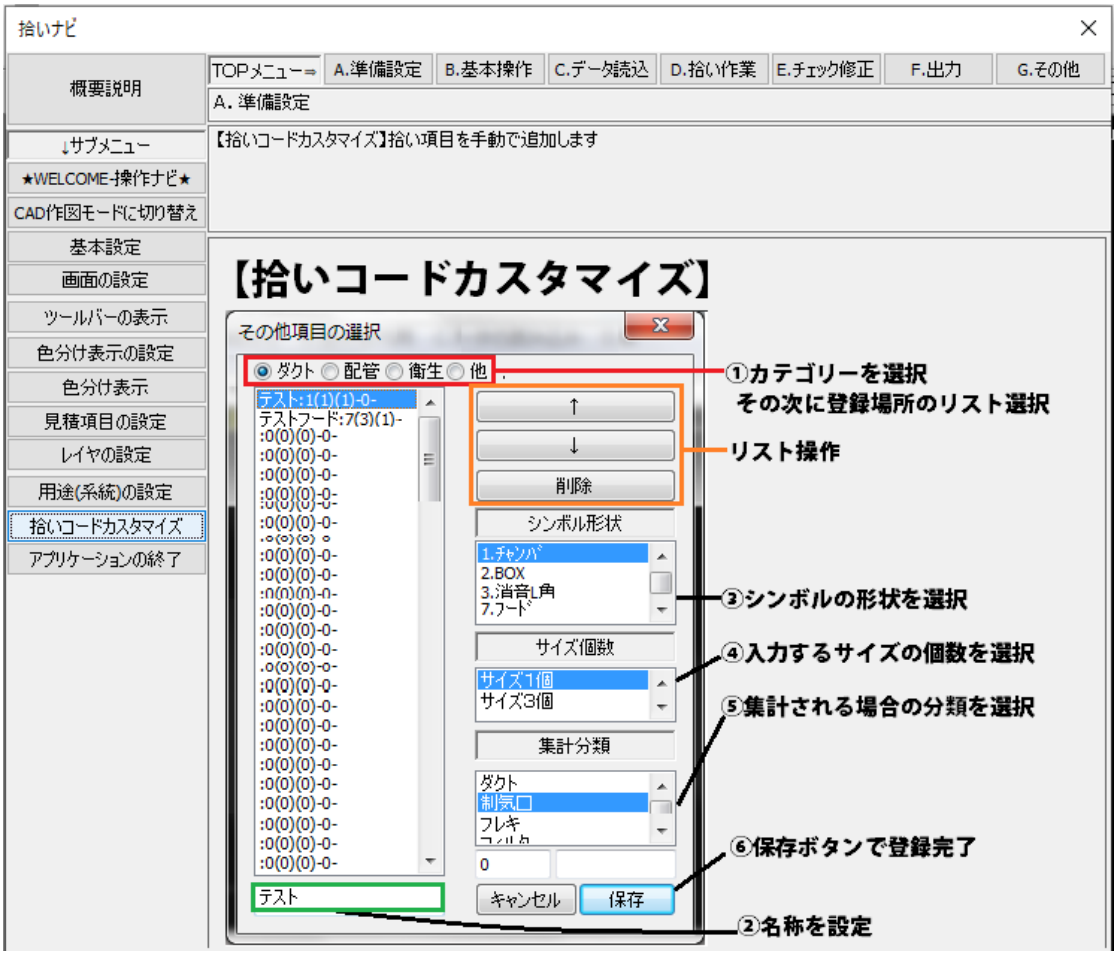

拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
A. 準備設定
↓サブメニュー
★WELCOME-操作ナビ★
CAD作図モードに切り替え
基本設定
画面の設定
ツールバーの表示
色分け表示の設定
色分け表示
見積項目の設定
レイヤの設定
用途(系統)の設定
拾いコードカスタマイズ
アプリケーションの終了
【ツールバーの表示】系統バー、個数物リスト、ステータスバーの表示/非表示を切り替えるものですが、基本的にすべて表示状態で使用します。
【ツールバーの表示】
基本的に全て表示状態にします。
系統
個数物選択パネル
ステータス バー(S)
個数物リスト


拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
A. 準備設定
↓サブメニュー
★WELCOME-操作ナビ★
CAD作図モードに切り替え
基本設定
画面の設定
ツールバーの表示
色分け表示の設定
色分け表示
見積項目の設定
レイヤの設定
用途(系統)の設定
拾いコードカスタマイズ
アプリケーションの終了
【色分け表示の設定】入力データの属性を見やすくするために色分けします。その際の色分けの内容をパターンごとに設定します。
【色分け表示の設定】
サイズモード色分けの際は別設定
配管とダクト別にサイズに応じた色指定
①表示色分けのパターンを選択
②設定項目を選択
③表示色を指定


拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
A. 準備設定
↓サブメニュー
★WELCOME-操作ナビ★
CAD作図モードに切り替え
基本設定
画面の設定
ツールバーの表示
色分け表示の設定
色分け表示
見積項目の設定
レイヤの設定
用途(系統)の設定
拾いコードカスタマイズ
アプリケーションの終了
【色分け表示】色分けの表示のパターンを選択します。
【色分け表示】表示パターンを選択
系統(用途)別に色分け
保温区分別に色分け
施工区分別に色分け
サイズに応じて色分け
積算項目別に色分け
各種の色分け方法で、入力したデータの
間違いをチェックします


拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
A. 準備設定
↓サブメニュー
★WELCOME-操作ナビ★
CAD作図モードに切り替え
基本設定
画面の設定
ツールバーの表示
色分け表示の設定
色分け表示
見積項目の設定
レイヤの設定
用途(系統)の設定
拾いコードカスタマイズ
アプリケーションの終了
【レイヤの設定】レイヤとは各CAD図形要素の分類を意味する属性です。その属性ごとに表示/非表示を切り替えたり、色分け表示に使用して見やすくしたりする場合に使用します。また単独で文字、直線を入力する場合に現在設定させているカレントのレイヤ属性も、この[レイヤ設定]でリスト選択をすることで指定します。
【レイヤの設定】
図形要素の色、幅等の属性を設定しますが
拾い入力の作業にはほとんど使用しません
選択したレイヤがカレントレイヤ(図形入力されるレイヤ)になります。
変更したいレイヤをリスト選択し
各属性の設定を変更します

拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
A. 準備設定
↓サブメニュー
★WELCOME-操作ナビ★
CAD作図モードに切り替え
基本設定
画面の設定
ツールバーの表示
色分け表示の設定
色分け表示
見積項目の設定
レイヤの設定
用途(系統)の設定
拾いコードカスタマイズ
アプリケーションの終了
【用途(系統)の設定】用途(系統)とは設備の属性です。この用途ごとに積算項目を指定したり、直管の材質を設定したりします。このメニューでその用途(系統)の細かな属性を指定しますが、積算ではこの用途名称は固定していますので、デフォルトのまま使用してください。
【用途（系統）の設定】
用途名称は固定されており変更不可
用途ごとの積算項目、材質を指定
用途を選択し属性を指定します
積算項目と材質を指定
※[Parts積算-集計]で設定を変更できますので通常は設定の必要はありません。


拾いナビ
概要説明
TOPメニュー⇒
A.準備設定
B.基本操作
C.データ読込
D.拾い作業
E.チェック修正
F.出力
G.その他
A. 準備設定
↓サブメニュー
★WELCOME-操作ナビ★
CAD作図モードに切り替え
基本設定
画面の設定
ツールバーの表示
色分け表示の設定
色分け表示
見積項目の設定
レイヤの設定
用途(系統)の設定
拾いコードカスタマイズ
アプリケーションの終了
【拾いコードカスタマイズ】拾い項目を手動で追加します
【拾いコードカスタマイズ】
その他項目の選択
ダクト
配管
衛生
他
①カテゴリーを選択
その次に登録場所のリスト選択
リスト操作
削除
シンボル形状
②シンボルの形状を選択
サイズ個数
④入力するサイズの個数を選択
集計分類
⑤集計される場合の分類を選択
⑥保存ボタンで登録完了
キャンセル
保存
②名称を設定